

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験
専門 必修	実習	C言語演習 I		砂賀勝己	無

【授業の到達目標及びテーマ】

C言語文法で学んだ内容を、演習によってさらに理解度を深める。また、実際にプログラムを作成・実行することでプログラム開発の手順についても学習する。

【講義概要】

各回ともそのテーマに関する、基礎/確認となる問題を1～2問、発展的な問題を2～3問。応用問題を1～2問程度出題する。

回	授業計画及び学習の内容
1	初回は演習は無し
2	コマンドプロンプトによるコンパイル～実行までの手順、エラーの修正方法
3	scanf関数、代入式、四則剰余演算に関する演習
4	基本的なfor命令、forの入れ子、インクリメント/デクリメントに関する演習
5	基本的なif命令、ifの入れ子、elseifに関する演習
6	初期値、条件、増分などのないfor・breakに関する演習
7	総合演習1
8	一次元配列1(int)に関する演習
9	一次元配列2(char)、(char配列による)文字列の取り扱いに関する演習
10	ソートの手法、乱数に関する演習
11	二次元配列1(int)に関する演習
12	二次元配列2(char)に関する演習
13	関数1(概要、戻り値のない関数)に関する演習
14	総合演習2
15	総合演習3

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	他(参加度)	合計
割合	80%				20%	100%

(補足)
 ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

プリントを配布

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験
専門 必修	実習	C言語演習Ⅱ		砂賀勝己	無

【授業の到達目標及びテーマ】

C言語文法で学んだ内容を、演習によってさらに理解度を深める。また、実際にプログラムを作成・実行することでプログラム開発の手順についても学習する。

【講義概要】

各回ともそのテーマに関する、基礎/確認となる問題を1～2問、発展的な問題を2～3問。応用問題を1～2問程度出題する。

回	授業計画及び学習の内容
1	戻り値のある関数
2	標準関数－文字列操作と関数
3	whileによる繰り返し
4	ファイルの取り扱い
5	ポインタ1 (概要・整数型/char型のポインタ)
6	ポインタ2 (配列へのアクセス)
7	総合演習1
8	ポインタ3 (関数の引数としての受け渡しと戻り値)
9	プリプロセッサ、前置インクリメント・デクリメント
10	構造体1 (概要、変数、代入)
11	構造体2 (構造体型のポインタ、リスト構造)
12	再帰
13	動的メモリ確保
14	C++の紹介 基礎、C言語との違いなど
15	総合演習2

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%			20%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

プリントを配布

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	C言語文法 I	砂賀勝己	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

C言語の文法について学習する。
コンパイラ言語の学習も初めてなので、コンパイラ言語でのプログラム開発に必要な知識についてもあわせて学習する。

【講義概要】

文法と合わせ演習科目も実施し、より理解度を深めるようにする

回	授業計画及び学習の内容
1	C言語プログラムの概要、コンパイラ/スクリプトなど、printf関数、変数1
2	printf関数、変数1
3	scanf関数、代入式、四則剰余演算
4	基本的なfor命令、forの入れ子、インクリメント/デクリメント
5	基本的なif命令、ifの入れ子、else if
6	初期値・条件・増分などのないfor、break、中間試験対策
7	中間試験
8	中間試験解説、一次元配列1(int)
9	一次元配列2(char)、(char配列による)文字列の取り扱い
10	ソートの手法、乱数
11	二次元配列1(int)
12	二次元配列2(char)、じゃんけんプログラムのアルゴリズム
13	関数1(概要、戻り値のない関数)
14	関数2(戻り値のある関数)、変数(float)、include、期末試験対策
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

プリントを配布

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	講義	C言語文法Ⅱ	砂賀勝己	無	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
C言語の文法について学習する。 また、各種アルゴリズム・データ構造についても合わせて学習する。						
【講義概要】						
文法の知識を活かし、実際に演習を行うことで理解を深める						
回	授業計画及び学習の内容					
1	戻り値のある関数					
2	標準関数－文字列操作と関数					
3	whileによる繰り返し					
4	ファイルの取り扱い					
5	ポインタ1 (概要・整数型/char型のポインタ)					
6	ポインタ2 (配列へのアクセス)					
7	中間試験					
8	ポインタ3 (関数の引数としての受け渡しと戻り値)					
9	プリプロセッサ、前置インクリメント・デクリメント					
10	構造体1 (概要、変数、代入)					
11	構造体2 (構造体型のポインタ、リスト構造)					
12	再帰					
13	動的メモリ確保					
14	C++の紹介 基礎、C言語との違いなど					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%			20%		100%
(補足)	・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】						
【教科書・参考文献】						
プリントを配布						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科		2023 年		1 年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門	必修	CCNA I		平塚 悠生	無	1.5 単位 30 時間
【授業の到達目標及びテーマ】						
最終的にはCCNA取得と同等の知識を習得すること。						
【講義概要】						
ネットワーク I の復習およびそれを踏まえ、OSI参照モデルの概要およびネットワークデバイスの役割や仕組みを習得する。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	LANとWAN、デバイスのトポロジ					
2	OSI参照モデルにおける各層の役割、データ分割とカプセル化					
3	Cisco Packet Tracer を使用したルータの基本操作演習					
4	ルータの役割					
5	ルーティングとは					
6	ここまでのまとめ					
7	中間試験					
8	スタティックルートの設定（送出インタフェースver）					
9	IPアドレスとは					
10	IPアドレスの計算					
11	ルータのインターフェースにIPアドレスを設定する					
12	スタティックルートの設定（ネクストホップver）					
13	エンドデバイスの設定、DNS、DHCPとは					
14	ここまでのまとめ					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%	%	%	40%		100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
【教科書・参考文献】						

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	高度情報システム科	2023年		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	アルゴリズム I	成田 与志子	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

フローチャートの表現方法及び基本情報技術者試験で使用する擬似言語の表記法を学ぶ。
また、基本的なアルゴリズムやデータ構造についても学習する。

【講義概要】

各種問題に対して処理要素を解説し、手順を考えさせ実際にフローチャートや擬似言語を書かせる。

回 授業計画及び学習の内容

1	アルゴリズムとは、流れ図とは、基本制御構造
2	変数と定数、変数をつかった分岐
3	カウンタ、分岐を使った繰り返し
4	擬似言語（順次、分岐）
5	擬似言語（繰り返し）、関数とは
6	集計、中間試験対策
7	中間試験
8	二重ループ
9	複合条件、一次元配列
10	二次元配列
11	探索処理（線形探索法、二分探索法）
12	整列処理①（基本交換法）
13	整列処理②（基本選択法、基本挿入法）
14	まとめ、期末試験対策
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%		20%	10%		100%

（補足） ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

擬似言語で学ぶアルゴリズム（インフォテックサーブ）

入学年次 2023 年 ← 自動入力
東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023 年		1 年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	アルゴリズムⅡ	成田 与志子	無	2 単位 30 時間

【授業の到達目標及びテーマ】

フローチャートの表現方法及び基本情報技術者試験で使用する擬似言語の表記法を学ぶ。
また、基本的なアルゴリズムやデータ構造についても学習する。

【講義概要】

各種問題に対して処理要素を解説し、手順を考えさせ実際にフローチャートや擬似言語を書かせる。

回 授業計画及び学習の内容

1	アルゴリズムとは、流れ図とは、基本制御構造
2	変数と定数、変数をつかった分岐
3	カウンタ、分岐を使った繰り返し
4	擬似言語（順次、分岐）
5	擬似言語（繰り返し）、関数とは
6	集計、中間試験対策
7	中間試験
8	二重ループ
9	複合条件、一次元配列
10	二次元配列
11	探索処理（線形探索法、二分探索法）
12	整列処理①（基本交換法）
13	整列処理②（基本選択法、基本挿入法）
14	まとめ、期末試験対策
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%		20%	10%		100%

（補足） ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

擬似言語で学ぶアルゴリズム（インフォテックサーブ）

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	高度情報システム科	2023年		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	アルゴリズムⅢ	成田 与志子	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

アルゴリズムとデータ構造の基礎理論習得を目指す。
また、基本情報技術者試験で用いられる擬似言語の読み方を習得する。

【講義概要】

授業プリントを配布しながら講義を進める。
演習問題を実際に解きながら理解を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	擬似言語の読み方 1
2	擬似言語の読み方 2
3	基数変換
4	論理演算 (ビット演算)
5	加算器
6	再帰処理
7	中間試験
8	リスト構造
9	木構造、ヒープ
10	スタック、キュー、逆ポーランド
11	文字列処理 1
12	文字列処理 2
13	様々なソート処理
14	マージソート
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	70%		20%	10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

基本情報技術者 科目B対策(インフォテックサーブ)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	セキュリティ I	久良知 健	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ネットワーク・ビギナー向けに、情報セキュリティ・サイバーセキュリティの初歩を学ぶ。日々必要となる情報セキュリティを理解し、実践ができるようになることを、目的とする。

【講義概要】

「インターネットの安全・安心ハンドブック」をテキストとして、最新の情報セキュリティの話題を交えながら、情報セキュリティ・サイバーセキュリティの初歩を学ぶ。

回	授業計画及び学習の内容
1	情報セキュリティ、サイバーセキュリティ、CSIRT、サイバー攻撃
2	マルウェア、情報セキュリティの守り方のポイント、ソーシャルエンジニアリング
3	攻撃、踏み台、犯罪、ボット、IoT
4	情報セキュリティの要素：パスワード
5	情報セキュリティの要素：無線LAN
6	情報セキュリティの要素：Web・メールを安全に利用する
7	中間試験
8	情報セキュリティの要素：暗号化
9	スマホのセキュリティ設定
10	パソコンのセキュリティ設定
11	攻撃を受けた時の対処、情報セキュリティ監査の資格
12	情報リテラシー：SNS
13	情報リテラシー：違法行為、不正行為、子供を守る
14	情報リテラシー：屋外・海外でのシステムの利用、大災害・テロに備える
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	50%			50%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

NISC：「インターネットの安全・安心ハンドブック」
<https://www.nisc.go.jp/security-site/handbook/index.html>

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門基礎 必修	講義	セキュリティⅡ	久良知真	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
情報セキュリティマネジメント試験の午前・午後問題分野について、要点確認と問題演習を行う。						
【講義概要】						
教科書の単元に沿って解説する。毎回、授業の最後に、その日の授業の範囲から出題した小テストを行う。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	情報セキュリティ全般：単元01 情報セキュリティ					
2	情報セキュリティ全般：単元02 マルウェア、単元03 パスワードの不正入手/不正利用、					
3	情報セキュリティ全般：単元04 Webサイト利用者への攻撃、単元05 サービスの妨害/悪用、					
4	情報セキュリティ全般：単元06 人的脅威、単元07 物理的脅威/その他の脅威、					
5	情報セキュリティ全般：単元08 暗号化技術、単元09 認証技術					
6	情報セキュリティ全般：単元10 デジタル署名					
7	中間試験					
8	情報セキュリティ対策：単元11 マルウェア対策、単元12 不正アクセス対策					
9	情報セキュリティ対策：単元13ネットワークセキュリティ、単元14情報漏えい対策					
10	情報セキュリティ対策：単元15その他のセキュリティ対策					
11	情報セキュリティ管理：単元16 情報セキュリティマネジメント、単元17 ISMS					
12	情報セキュリティ管理：単元18 リスクマネジメント、単元19 情報セキュリティインシデント管理					
13	情報セキュリティ関連法規：単元20 情報セキュリティ関連法規					
14	総合問題					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%		20%		100%
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 					
【教員紹介】						
① 銀行でシステム開発 (2年) ②ソフトウェア開発会社でシステム開発 (2年) ③起業し、システム開発、教育、翻訳、テクニカルライティング (20年)						
【教科書・参考文献】						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ソフトウェア	高嶋 知由	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

特区基本情報対策の対象となる範囲を中心に、コンピュータ科学基礎、ソフトウェアの基礎について学習する。

【講義概要】

テキストの他、プロジェクトで図や写真を多用し理解度を深める。
毎回小テストを行い、確実な知識の習得を促す。

回	授業計画及び学習の内容
1	情報処理システムの処理形態
2	様々なシステム
3	高信頼化システムの構成
4	処理能力の評価、性能測定 of 技法
5	信頼性 of 評価
6	ヒューマンインタフェース
7	中間試験
8	マルチメディア
9	基本ソフトウェア ジョブ管理
10	基本ソフトウェア タスク管理
11	基本ソフトウェア 記憶管理
12	プログラム言語と言語プロセッサ
13	ファイル、ディレクトリ、バックアップ
14	まとめ問題演習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	70%	30%				100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

ITワールド (インフォテックサーブ)、基本情報過去問題

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	高度情報システム科	2023年		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ハードウェア I	安藤 真理	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

情報技術のハードウェア分野についての知識、理解をもとに、後期より始まる基本情報技術者試験への合格を目指す。

【講義概要】

情報技術における基礎理論をはじめ、ハードウェア分野についての知識、理解を身に着ける。また、基本情報技術者試験の過去問題の解法とともに理解を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	0R、基数（2進数、10進数、16進数）の基礎理解
2	基数変換
3	基数変換の応用、五大装置について
4	中央処理装置
5	主記憶装置と補助記憶装置
6	論理回路、中間試験対策
7	中間試験
8	磁気ディスク
9	シフト演算
10	インターフェース
11	システムの性能評価
12	浮動小数点法
13	基本情報技術者試験について、試験対策問題
14	期末試験対策
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。

【教科書・参考文献】

ITワールド、基本情報技術者 過去問題集（インフォテックサーブ）

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	高度情報システム科	2023年		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ハードウェアⅡ	安藤 真理	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

情報技術のハードウェア分野についての知識、理解をもとに、後期より始まる基本情報技術者試験への合格を目指す。

【講義概要】

情報技術における基礎理論をはじめ、ハードウェア分野についての知識、理解を身に着ける。また、基本情報技術者試験の過去問題の解法とともに理解を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	0R、基数（2進数、10進数、16進数）の基礎理解
2	基数変換
3	基数変換の応用、五大装置について
4	中央処理装置
5	主記憶装置と補助記憶装置
6	論理回路、中間試験対策
7	中間試験
8	磁気ディスク
9	シフト演算
10	インターフェース
11	システムの性能評価
12	浮動小数点法
13	基本情報技術者試験について、試験対策問題
14	期末試験対策
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。

【教科書・参考文献】

ITワールド、基本情報技術者 過去問題集（インフォテックサーブ）

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	データベース	高嶋 知由	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

データベースとは、DBMSについて
関係データベースの設計、正規化、DBの操作、SQLの習得

【講義概要】

テキストの他、プロジェクトで図や写真を多用し理解度を深める。
毎回小テストを行い、確実な知識の習得を促す。

回 授業計画及び学習の内容

1	データベースとは 関係データベースの特徴
2	DBMS 排他制御、障害回復処理
3	表の定義 正規化
4	SQL CREATE文
5	SQL SELECT文 * DISTINCT
6	SQL SELECT文 WHERE 条件指定
7	中間試験
8	SQL SELECT文 集合関数 GROUP BY ORDER BY
9	SQL SELECT文 表の結合
10	SQL SELECT文 副問合せ
11	SQL SELECT文 相関問合せ
12	SQL その他のSQL文 JOIN GRANT
13	SQL 総合問題演習
14	DB 基本情報午後問題
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%	20%				100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

ITワールド (インフォテックサーブ)、基本情報過去問

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	高度情報システム科	2023年		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ネットワーク I	平塚 悠生	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報技術者試験レベルのネットワーク分野の知識を習得する

【講義概要】

回 授業計画及び学習の内容

1	コンピュータネットワークとは LANとWAN
2	OSI参照モデルとTCP/IPモデル
3	通信のしくみ
4	アプリケーション層プロトコル①
5	アプリケーション層プロトコル②
6	IPアドレスとは
7	ここまでの復習
8	中間試験
9	IPアドレスの計算①
10	IPアドレスの計算②
11	重要なネットワーク技術
12	ネットワーク性能に関する計算①
13	ネットワーク性能に関する計算②
14	ここまでの復習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	100%					100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

参考文献：ITワールド

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ネットワークⅡ	平塚 悠生	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

最終的にはCCNA取得と同等の知識を習得する。

【講義概要】

OSI参照モデルにおけるL4～L1の基本動作およびそれに付随するネットワークデバイスの設定演習を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	ICMPとは
2	ルータのIFにIPアドレスを設定する
3	エンドデバイスの設定 DHCP、DNSとは
4	L4トランスポート層概要①
5	L4トランスポート層概要②
6	MACアドレスとは
7	ここまでのまとめ
8	中間試験
9	スイッチとハブの比較 MACアドレステーブル
10	CSMA/CD方式、ドメインとは
11	仮想端末接続概要
12	仮想端末接続演習
13	ルータ起動の流れ
14	ここまでのまとめ
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	60%			40%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	高度情報システム科	2023年		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	実習	ホームページ	黒澤 純一	有	1.5単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ウェブページを構成する主要な要素であるHTML/CSSの基本的な記述方法と役割について理解し、演習を通じて、制作技術の習得を目指す。

【講義概要】

前編は、HTML/CSSの基本的な知識と記述方法について学習し、
後編は、学習した内容を基に簡単な課題制作に取り組むことで理解を深める。

回 授業計画及び学習の内容

1	基礎① HTML/CSS概要説明、基本的な要素の記述体験
2	基礎② 制作に必要なフォルダ構成、マークアップルールの解説と記述演習
3	基礎③ HTMLの基本的な書式と名称の解説、演習（テキスト表示に関するタグなど）
4	基礎④ CSSの基本的な書式と名称の解説、演習（要素に対する見た目の装飾、配置変更など）
5	基礎⑤ HTMLでのリンクと画像の挿入、CSSでの装飾・配置
6	基礎⑥ レイアウトについて、ボックスモデルとフレックスボックスの解説と演習1
7	基礎⑦ レイアウトについて、ボックスモデルとフレックスボックスの解説と演習2
8	基礎⑧ レイアウトについて、レスポンシブデザイン・メディアクエリの解説と演習
9	基礎⑨ CSSでのアニメーション、UI/UXと絡めた解説と演習
10	実践 ウェブページ制作課題① 課題の概要説明
11	実践 ウェブページ制作課題②
12	実践 ウェブページ制作課題③
13	実践 ウェブページ制作課題④
14	実践 ウェブページ制作課題⑤
15	実践 ウェブページ制作課題⑥

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事

【教科書・参考文献】

プロを目指す人のHTML&CSSの教科書

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	実習	表計算基礎 I	藤田 恵子	無	1.5 単位 30 時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Excelの基本的な操作とビジネスで必須の資料作成や集計、計算分析に使う関数、グラフなど自力で作成できる力を身に付けることを目標とし、Excel機能の特徴を理解し将来さまざまな仕事で活用できることを学習する。

【講義概要】

Excel内容ごとの課題を作成し印刷物で提出する。採点后返却し再度間違いやできない所をやり直ししながらできない所を克服する。基本操作、セルの書式設定、関数計算集計、関数使い方、グラフ、表作成編集、データベース等。

回	授業計画及び学習の内容
1	Excel基本操作、シートの入力基本と書式設定、保存と印刷方法、設定、メニュー
2	Excel基本操作2、シート入力基本と書式設定2、四則計算と関数SUM合計AVERAGE平均MAX最大他
3	セルの書式設定、文字数値入力基本、表作成、セル結合、罫線編集、四則計算と基本の関数、%小数点
4	セルの書式設定、罫線表作成、行列幅設定変更、四則計算と基本関数と構成比率%絶対参照F4で\$絶対番地
5	円グラフ、折れ線グラフ、縦棒グラフ、横棒グラフ基本的なグラフ作成と編集方法、基本関数練習
6	端数処理（切捨rounddown切上roundup四捨五入round）絶対参照F4、small、large、Rank順位
7	ここまでの総合まとめ練習課題
8	条件判定IFの基本と応用1（and、or、not）ネスト（入れ子）、条件式テーブルなど
9	条件判定IFの練習と応用、データベース機能絞り込み抽出、複数条件の並べ替え、
10	グラフ作成と編集、折れ線と縦棒の複合グラフ作成、グラフの書式設定など。特殊な変更方法
11	表検索VLOOKUPの基本と応用、行検索Hlookupの活用と応用、データベース機能
12	Time時刻の計算、date日付の計算、賃金計算、成績管理、住所録、データベース、表検索応用
13	複数ページの印刷、印刷範囲、設定変更、複数シートの集計機能、複数ブックの集計
14	ここまでの総合まとめ練習課題1
15	ここまでの総合まとめ練習課題2

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合 (補足)	70%		20%	10%		100%

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

実況出版60HexcelIキパ°-ト/無限大出版Excel演習問題/MOS検定試験問題集/
日本情報処理検定問題集3～1級

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	実習	表計算基礎Ⅱ	藤田 恵子	無	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Excelの基本的な操作を理解し、ビジネスに必要な集計機能や分析に関する機能やグラフ作成、仕事で使える便利な機能の習得や印刷やデータの保護管理までを身に着けることを目標とする

【講義概要】

各回に配布したプリントの課題をしながら機能や集計方法などを学習し、いままでの復習を繰り返し練習しながら、毎回新しい機能や関数を学び練習します。

回	授業計画及び学習の内容
1	Excelの基本機能、データ入力、文字入力、日付や時刻などの表示形式、ユーザ定義の活用（曜日や単位表示
2	行の高さ、列幅、行列非表示、表作成の罫線の編集、セル結合や左インデント字下げ、縦書き、ルビ表示
3	四則計算、合計・平均・最大・最小・セルの数など基本的な集計練習、データ並べ替え、通貨表示と%表示
4	端数処理と%表示形式、小数点以下の表示、単位や通貨記号表示、コメント使いかた、リンク方法・削除
5	IF判定の基本、IFのネスト・入れ子、and・or・notを活用したIF判定の活用、RANK順位つけ降順・昇順
6	データ規則よりリスト作成、データ入力時の制限方法、エラー表示、請求書作成してみる、複数ページ数管理
7	印刷範囲の設定、ヘッダーフッター（ページ番号、シート名、日付時刻表示など）、印刷拡大縮小、余白設定
8	表検索VLOOKUPを活用して売上集計まとめる。データベース機能使う。HLOOKUPも活用
9	複数シートの串刺し演算による集計方法、シート間のリンクの設定、シートの保護、ブックの保護
10	ピボットテーブル機能によるクロス集計、自動集計方法の活用、グループ化の設定
11	データベース機能DSUM、DAVERAGE、DCOUNT、COUNTIF、SUMIFなどの活用による集計方法
12	複雑なグラフ作成、縦棒と折れ線の複合グラフ、円グラフ、積み上げ横棒などの編集について
13	総合まとめ1
14	総合まとめ2
15	総合まとめ3

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%		20%	10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

無限大EXCEL(基礎編・応用編)/美教出版60時間遠州/日情検定の表計算問題集2級1級初段から)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	実習	文書編集基礎	佐藤 薫	無	1.5単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Wordを使用して文書編集の機能を理解し、定型のビジネス文書、表や図入りの案内書、長文を効率よく作成できるようになることが目標。入力速度向上も目指す(最低400字以上/10分)

【講義概要】

機能の操作説明を理解して実習課題を2問ほど作成する。不明点は積極的に聞いて文書作成の基礎を身に付けよう。授業中に提出できなかった必須課題は後から必ず提出すること。

回 授業計画及び学習の内容

1	Wordの画面構成、入力の基礎、タイピング練習、文書の保存
2	日本語入力システムの活用、ページ設定と文書の印刷プレビュー
3	一般的なビジネス文書の作成(1)、ビジネス文書のルール
4	一般的なビジネス文書の作成(2)、インデントとタブで文字位置を揃える
5	一般的なビジネス文書の作成(3)、文字、段落の書式設定
6	シンプルなレポートや報告書の作成(1)
7	シンプルなレポートや報告書の作成(2)
8	ヘッダーとフッターの設定、総合問題①
9	表を使った文書の作成
10	表の編集、Excelデータの取り込み
11	画像や図形を使った文書の作成
12	ワードアート、図解(SmartArt)で情報を伝える文書の作成
13	効率の良い長文作成の機能
14	まとめ
15	まとめ

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	90%			10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

情報利活用文書作成word2019対応

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	CompTIA A+対策	藤野 麻朗	有	4単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

PC/AT互換機のハードウェア理解とWindowsを中心としてOSの理解を行う

【講義概要】

1001にてコンピューターハードウェアの詳細及びトラブルシューティングを学ぶ
1002にてOSやモバイル、ヘルプデスクの人的対応について学ぶ

回	授業計画及び学習の内容
1	オリエンテーションとレッスン1 (1001) PCコンポーネントのインストールと構成 レッスン2 (1001) ディスプレイ及びマルチメディアデバイス
2	レッスン3 (1001) ストレージデバイス
3	レッスン4 (1001) 内部システムコンポーネント
4	レッスン5 (1001) ネットワークインフラストラクチャ
5	レッスン6 (1001) ネットワーク構成とトラブルシューティング レッスン7 (1001) 仮想化とクラウド
6	レッスン8 (1001) ノートPC レッスン9 (1001) モバイルデバイスのサポートとトラブルシューティング レッスン10 (1001) 印刷デバイス 復習
7	中間試験
8	レッスン1 (1002) OSのサポート レッスン2 (1002) OSのインストール、構成、メンテナンス
9	レッスン3 (1002) Windowsのメンテナンスとトラブルシューティング レッスン4 (1002) ネットワーク構成とトラブルシューティング
10	レッスン5 (1002) ユーザー、PC、共有資源管理
11	レッスン6 (1002) セキュリティの概念 レッスン7 (1002) PCとデータ保護
12	レッスン8 (1002) PCのセキュリティ問題のトラブルシューティング レッスン9 (1002) モバイルデバイスのサポートとトラブルシューティング
13	レッスン10 (1002) 運用手順の実施
14	レッスン10 (1002) 運用手順の実施 総復習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	60%	10%	20%	10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

5年間SEとして勤務、その後は企業向けIT系講師として勤務。ネットワーク、Windowsサーバー構築、Linuxサーバー構築、仮想化、CompTIA関連などの社員向け研修等を担当。

【教科書・参考文献】

CompTIAのThe Official CompTIA Contents (OCC)A+1001、A+1002。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ITパスポート対策	小泉 真理子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ITパスポート試験合格を目標とする。

【講義概要】

ITパスポート試験の資格対策を行う。用語と過去問を理解し、資格取得を目指す。
合格者は前期は基本情報技術者試験午前の学習を行う。後期からは授業・定期試験を免除する。

回	授業計画及び学習の内容
1	ITパスポート試験の概要
2	ストラテジ系
3	ストラテジ系
4	ストラテジ系
5	ストラテジ系
6	ストラテジ系
7	ストラテジ系
8	中間試験
9	マネジメント系
10	マネジメント系
11	マネジメント系
12	マネジメント系
13	マネジメント系
14	マネジメント系
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	50%		40%	10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。

【教科書・参考文献】

ITパスポート試験過去問題

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	高度情報システム科	2023年		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	基本情報対策 I	砂賀 勝己	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報科目A免除試験の合格を目指す

【講義概要】

午前問題対策、特に計算問題を中心に学習する。12月の免除試験終了後は科目B(午後)対策の内容を勉強する。

回	授業計画及び学習の内容
1	進数、データの表現形式などの計算
2	CPU関係の計算、用語
3	稼働率、信頼性関係の計算
4	多重プログラミングとスケジューリング
5	論理代数
6	音声サンプリング、画素数、逆ポーランド
7	中間試験
8	アローダイアグラム、ページング関係
9	売上、損益分岐点等、中間試験対策
10	午前免除試験直前練習
11	科目B対策：アルゴリズム1
12	科目B対策：アルゴリズム2
13	科目B対策：アルゴリズム3
14	科目B対策：アルゴリズム4
15	科目B対策：アルゴリズム5

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	80%			20%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

インフォテックサーブ版「科目B対策」

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	高度情報システム科	2023年		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	基礎情報対策Ⅱ	砂賀 勝己	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報午前免除試験の合格を目指す

【講義概要】

過去問題を繰り返し学習する。12月または1月の修了試験に合格したら受講免除。

回	授業計画及び学習の内容
1	過去問練習
2	過去問練習
3	過去問練習
4	過去問練習
5	過去問練習
6	過去問練習
7	中間試験
8	過去問練習
9	過去問練習
10	午前免除試験直前練習
11	科目B対策：アルゴリズム1
12	科目B対策：アルゴリズム2
13	科目B対策：アルゴリズム3
14	科目B対策：アルゴリズム4
15	科目B対策：アルゴリズム5

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	高度情報システム科	2023年		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎数学 I	阿部 潤子	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

情報処理技術者に必要となる数学（指数と対数、単位変換、比例式、数列、順列・組み合わせ）の基礎を学び、活用できることをめざす。

【講義概要】

指数と対数、単位変換、比例式、数列、順列・組み合わせの講義を行い、毎回、情報処理試験問題などから選んだ具体的な演習問題を解く。適宜、演習問題の課題をレポートとして提出する。

回	授業計画及び学習の内容
1	計算の基礎：四則演算の規則を確認し、正確な計算を行う。
2	指数：指数計算の規則を理解し、正確な計算を行う。
3	対数 1：対数の意味を理解し、対数の性質について学ぶ。
4	対数 2：対数計算の規則を理解し、正確な計算を行う。
5	基本的な単位の変換ルールを確認し、単位計算を行う。
6	1次方程式、2元連立1次方程式を解く。文章問題から方程式を作って解く。
7	中間試験（筆記）
8	比と割合 1：比例式を作り、それを解く。割合の表し方を理解し、問題を解く。
9	比と割合 2：濃度および仕事率を理解し、問題を解く。
10	数列 1：等差数列の規則性から一般項を求める。等差数列の和を計算する。
11	数列 2：等比数列の規則性から一般項を求める。等比数列の和を計算する。
12	数列 3： Σ 記号の意味と使い方を理解し、自然数の累乗の和を計算する。
13	順列：順列の考え方とその計算方法を学ぶ。
14	組み合わせ：組み合わせの考え方とその計算方法を学ぶ。
15	期末試験（筆記）

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%		15%	5%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

プログラムの数学（結城 浩著・ソフトバンククリエイティブ）

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎数学Ⅱ	阿部 潤子	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

確率・統計学は数量的データを処理する際に必要であり、現実の問題を解析する際にも有用である。多くの例題や問題を解くことでこれらを学び、活用できることをめざす。

【講義概要】

確率の基礎知識を理解し、確率の計算方法を学ぶ。統計データや確率変数の平均値、分散、標準偏差の意味を理解し、その計算方法を学ぶ。期待値、二項分布についても学ぶ。

回	授業計画及び学習の内容
1	確率の考え方と数学的な扱いを具体的な例題から学ぶ。
2	標本点、標本空間を用いて確率を求める方法を学ぶ。
3	集合の考え方が確率の計算に利用できることを学ぶ。
4	乗法定理を用いた確率の計算方法(2つの事象A、Bが従属のとき)。
5	乗法定理を用いた確率の計算方法(2つの事象A、Bが独立のとき)。
6	確率変数を用いて確率を分布としてとらえることを学ぶ。
7	中間試験(筆記)
8	代表値と分散、標準偏差の意味と計算方法を学ぶ。
9	数のデータの、平均値、分散、標準偏差の計算方法を学ぶ。
10	確率変数の平均値、分散、標準偏差の計算方法を学ぶ。
11	期待値の意味と計算方法を学ぶ。
12	二項分布の特徴と確率の求め方を学ぶ。
13	二項分布から二項定理を導く。二項定理を用いて二項式の展開形を計算する。
14	二項分布の平均値と分散の計算方法、二項分布のグラフの特徴について学ぶ。
15	期末試験(筆記)

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	80%		15%	5%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

初等統計学 (P.G. ホーエル著・培風館)、初等技術者のための応用数学 (副島一之 他著・コロナ社)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎英語 I	酒井 智子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

既習の文法事項の定着をはかりつつ、更に実用的な英語の四技能（読・書・聞・話）の基礎力・応用力を養う。将来の職場において、身近にある既存のツールを用いての必要最低限以上の対応力を養うことを目標とする。

【講義概要】

身近で興味深い題材で実践的な会話音読を行い、楽しみながら語彙を増やし即戦力となる基盤を築きたい。小テストや課題を原則毎回こなし、積極的な取り組みによる成果を得ることで、日常の努力が報われる成功体験を得てもらう。

回	授業計画及び学習の内容
1	オリエンテーション、5文型8品詞
2	Unit 1 空港で [文法： 第1文型～第3文型]
3	Unit 2 マンションに到着 [文法：第4～5文型、自動詞と他動詞、There + be動詞+名詞] (1)
4	Unit 2 マンションに到着 [文法：第4～5文型、自動詞と他動詞、There + be動詞+名詞] (2)
5	Unit 3 お客様を迎える [文法：不定詞①・動名詞] (1)
6	Unit 3 お客様を迎える [文法：不定詞①・動名詞] (2)
7	中間試験
8	Unit 4 デパ地下でお買い物 [文法：不定詞② 形容詞的用法・副詞的用法・その他] (1)
9	Unit 4 デパ地下でお買い物 [文法：不定詞② 形容詞的用法・副詞的用法・その他] (2)
10	Unit 5 お花見 [文法：分詞] (1)、受動態
11	Unit 5 お花見 [文法：分詞] (2)
12	Unit 6 浅草へ行こう！ [文法： 等位接続詞] (1)
13	Unit 6 浅草へ行こう！ [文法： 等位接続詞] (2)
14	Unit 7 秋葉原を散策 [文法： 従属接続詞]
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	90%	3%	5%	2%		100%

- (補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

公立高校教師、外資系化学メーカー勤務を経て2002年より本校非常勤講師（臨床工学科・臨床検査科・情報学部）。医療系大学の薬学部にて講師経験あり。 取得資格：英検1級、全国通訳案内士、医療通訳士技能検定2級（日本医療通訳協会）

【教科書・参考文献】

初級英語で紹介するニッポン - 続・イングリッシュ・ワンス・モア！ - （朝日出版社）

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎英語Ⅱ	酒井 智子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

既習の文法事項の定着をはかりつつ、更に実用的な英語の四技能（読・書・聞・話）の基礎力・応用力を養う。将来の職場において、身近にある既存のツールを用いての必要最低限以上の対応力を養うことを目標とする。

【講義概要】

身近で興味を促す題材に基づいた実践的な会話文の読解を行い、楽しみながら語彙を増やし文法事項の定着をはかる。小テストや課題を通して、積極的な取り組みにより成果を得ることで、日常の努力が報われる成功体験を得てもらう。

回	授業計画及び学習の内容				
1	Unit 6	浅草へ行こう！	[文法： 等位接続詞]	(1)	前期の復習（分詞構文）
2	Unit 6	浅草へ行こう！	[文法： 等位接続詞]	(2)	
3	Unit 7	秋葉原を散策	[文法： 従属接続詞]	(1)	
4	Unit 7	秋葉原を散策	[文法： 従属接続詞]	(2)	
5	Unit 8	平和への祈り	[過去完了形]	(1)	
6	Unit 8	平和への祈り	[過去完了形]	(2)	
7	中間試験				
8	Unit 9	京都旅行：新幹線の旅	[文法： 話法①]	(1)	
9	Unit 9	京都旅行：新幹線の旅	[文法： 話法①]	(2)	
10	Unit 10	茶道初体験	[文法： 話法②]	(1)	
11	Unit 10	茶道初体験	[文法： 話法②]	(2)	
12	Unit 11	京都の思い出	[関係代名詞①]	(1)	
13	Unit 11	京都の思い出	[関係代名詞①]	(2)	
14	Unit 12	日本滞在最後の日：築地市場～上の公園	[関係代名詞②]	読解	
15	期末試験				

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	90%	3%	5%	2%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

筑波大学 比較文化学類卒業。公立高校教師、外資系化学メーカー勤務を経て本校非常勤講師（臨床工学科・臨床検査科・情報処理科）。昭和大学薬学部非常勤講師（令和2年）。取得資格：英検1級、全国通訳案内士、医療通訳士技能検定2級（日本医療通訳協会）

【教科書・参考文献】

初級英語で紹介するニッポン - 続・イングリッシュ・ワンス・モア！ - （朝日出版社）

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	高度情報システム科	2023年		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	ビジネスマナー I	山際 能理子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

接遇を学び、正しいビジネスマナーを習得し、良好な人間関係の構築を図る

【講義概要】

クラス全員の参加型形式で、「知る・わかる・できる」のステップで、身につけていきます。

回	授業計画及び学習の内容
1	【オリエンテーション】 クラスのルール クラスメンバーと知りあう
2	【サービススタッフの資質①】 仕事は全てサービス業 心構えと基本行動
3	【サービススタッフの資質②】 好印象・好感度の形成
4	【サービスの専門知識】 サービスの機能や種類
5	【従業知識】 商業用語・経済用語 会社の構成
6	【一般知識①】 ことわざ・慣用表現 慶事の知識
7	【一般知識②】 物の名称・数え方 カタカナ用語 弔事の知識
8	【対人技能①】 コミュニケーション
9	【対人技能②】 接遇の基本 接遇用語 敬語
10	【対人技能③】 基本のマナー お辞儀・立ち居振る舞い・案内・席次・和室・食事
11	【実務技能①】 問題の捉え方 問題への対応
12	【実務技能②】 環境の整備 金品管理
13	【実務技能③】 社交業務
14	サービス接遇検定 模擬テストに挑戦
15	全体のまとめ

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	50%			50%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

情報処理科、電子技術科、臨床工学科において、ビジネスマナーを担当。学校での講義だけでなく、企業での研修や講演も行っている。サービス接遇検定本の著者。

【教科書・参考文献】

ユーキャンのサービス接遇検定合格テキスト&問題集

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	経営		古郡 聡	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

IT社会を支えている情報システムを中心とした戦略について、経営戦略と企業について学ぶ。また、基本情報技術者試験のマネジメント分野、ストラテジ分野の対策も兼ね、基本情報技術者試験の合格を目指す。

【講義概要】

毎回要点のまとめを実施し、確実な知識の習得を促す

回	授業計画及び学習の内容
1	企業活動の目的
2	企業会計
3	オペレーションズリサーチ(1)
4	オペレーションズリサーチ(2)
5	経営工学・品質管理
6	法務と標準化
7	中間試験
8	経営戦略マネジメント(1)
9	経営戦略マネジメント(2)
10	技術戦略マネジメント・ビジネスインダストリ
11	e-ビジネス
12	情報システム戦略
13	情報システム企画
14	開発技術
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	70%	10%		20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

教育機関にて学内のシステム開発業務に従事

【教科書・参考文献】

IT戦略とマネジメント (インフォテック・サーブ)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023 年		1 年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	実習	体育実習 I	高度情報システム科 担当教員	無	3 単位 60 時間

【授業の到達目標及びテーマ】

運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。
 ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4 時間程度歩き、心身のバランスを図ります。
 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。
 心身の健全な育成を目指しています。

【講義概要】

この授業は、春と秋のハイキング、学園祭（準備 2 日間、学園祭 2 日間）の参加を以て、評価します。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	春のハイキング
3	
4	
5	学園祭準備（1 日目、2 日目）
6	
7	
8	学園祭（1 日目）
9	
10	
11	学園祭（2 日目）、後片付け
12	
13	
14	秋のハイキング
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	(出席と取り組む姿勢)	合計
割合					100%	100%

(補足) ・成績は 100 点を最高とし、60 点以上を及第点とする。
 ・原則として欠席回数が 1/3 を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験
専門 必修	実習	Java演習 I		仲 智弘	有
単位・時間数 3単位 60時間					

【授業の到達目標及びテーマ】

JAVAの文法を理解する。特に、クラス概念を詳しく教える。C言語の文法は、知っているものとして進める。処理の流れを理解し、プログラムを作成する能力を養う。基礎を学ぶ。文法の内容を踏まえ演習を行って理解を深める

【講義概要】

回 授業計画及び学習の内容

1	プログラムの書き方
2	式と演算子
3	制御文ifとfor
4	配列
5	メソッド
6	クラス
7	まとめ1
8	オブジェクト指向
9	インスタンスとクラス
10	クラスと機構
11	カプセル化
12	継承1
13	経書2
14	多様性
15	まとめ2

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合			60%	40%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

独立系IT企業にてSE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科		2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	Java文法 I		仲 智弘	有	2単位 30時間
【授業の到達目標及びテーマ】						
JAVAの文法を理解する。特に、クラス概念を詳しく教える。C言語の文法は、知っているものとして進める。処理の流れを理解し、プログラムを作成する能力を養う。基礎を学ぶ。						
【講義概要】						
回	授業計画及び学習の内容					
1	プログラムの書き方					
2	式と演算子					
3	制御文ifとfor					
4	配列					
5	メソッド					
6	クラス					
7	まとめ1					
8	オブジェクト指向					
9	インスタンスとクラス					
10	クラスと機構					
11	カプセル化					
12	継承1					
13	経書2					
14	多様性					
15	まとめ2					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%			20%		100%
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> 成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 					
【教員紹介】						
独立系IT企業にてSE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。						
【教科書・参考文献】						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	Python I	仲 智弘	有	3単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
Pythonの基本文法を理解する。						
【講義概要】						
座学の講義を中心とするが、演習課題としてPCを使用したプログラミングを実施する。座学のため定期試験を実施する。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	言語の基礎					
2	データ型					
3	関数					
4	クラス					
5	条件分岐、繰り返し					
6	繰り返し、内包表記					
7	中間試験					
8	継承、インターフェース、Mixin					
9	デコレータ、property、クラス変数、クラスメソッド、スタティックメソッド					
10	例外処理					
11	スコープ、import、PyPI					
12	mypy、Optional、ラムダ、クロージャ					
13	ジェネレータ					
14	まとめ					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	60%			40%		100%
(補足)	・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】						
独立系IT企業にてSE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。						
【教科書・参考文献】						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	PythonⅡ	仲 智弘	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

WebAPIの活用やスクリプティング、ライブラリの使用方法など幅広くPythonの仕組みを理解する。

【講義概要】

実践的なWebシステム開発の手法についても併せて学習する。

回	授業計画及び学習の内容
1	Iの復習
2	Matplotlibによるグラフ化
3	RequestsモジュールによるWebAPI取得
4	Webスクレイピングについて。Beautiful SoupでHTMLの解析。
5	課題：スクレイピングでニュース一覧、英単語一覧の作成
6	Seleniumによるブラウザ操作とスクレイピング
7	総合演習1
8	PythonでWebシステム開発
9	PythonでWebシステム開発
10	PythonでWebシステム開発（データベース利用）
11	PythonでWebシステム開発（データベース利用）
12	PythonでWebシステム開発（データベース利用）
13	PythonでAI
14	PythonでAI
15	PythonでAI

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%			40%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

独立系IT企業にてSE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Webプログラミング	坂巻 真美	無	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

XAMPP環境を用いてWebシステムの基本的な仕組みやシステム構築について学習します。

【講義概要】

各回のテーマに関する演習を通して理解を深めます。

回	授業計画及び学習の内容
1	PHP入門
2	PHP基礎 - 書き方/実行方法・変数
3	PHP基礎 - 組み込み関数
4	PHP基礎 - Webフォーム
5	PHP基礎 - 配列・算術演算子・条件分岐・リダイレクト
6	PHP基礎 - 未入力チェック・フィルタリング
7	PHP基礎 - 選択タグとPHP
8	ここまでのまとめ
9	中間課題
10	PHP応用 - 繰り返し・連想配列・多次元配列
11	PHP応用 - 自作関数・ファイル分割
12	PHP応用 - セッション
13	PHP応用 - DB・例外処理
14	ここまでのまとめ
15	最終課題

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	40%			20%	40%	100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

PHP Tutorial (オリジナルテキスト) 基礎・応用

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	JavaScript	高橋 義弘	有	3単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
JavaScriptの目的や役割をしっかりと理解したうえで、DOMの制御を行い、適切なブラウザレンダリングを行うことができるようになる。Web APIの取得を学習し、Webアプリの制作方法を理解できるようになる。						
【講義概要】						
本講義ではプログラミング用のエディタの基本的な使い方についても習得する。理解度を図るためのテストも実施する。自主学習も必要不可欠である。教科書を使用するため、教科書は必携すること。(貸出不可)						
回	授業計画及び学習の内容					
1	JavaScript基礎：DOMを理解して、HTML/CSSの内容を書き換える					
2	JavaScript基礎：マウスイベントの取得について					
3	JavaScript基礎：条件分岐文、繰り返し文などの制御文法の学習					
4	JavaScript基礎：アニメーションの設定、課題					
5	JavaScript基礎：Mathオブジェクトの学習					
6	小テスト1回目：これまでの総復習					
7	JavaScript基礎：Dateオブジェクトの学習					
8	JavaScript基礎：Dateオブジェクトの学習					
9	テスト2回目：デジタル時計の作成					
10	テストの解説					
11	JavaScript応用：簡易郵便番号検索（WebAPIの活用）					
12	JavaScript応用：天気予報アプリ作成（WebAPIの活用）					
13	JavaScript応用：天気予報アプリ作成（JSONデータの活用）					
14	総合演習					
15	総合演習					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合 (補足)	30%	50%		20%		100%
・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
15年以上、Webエンジニア・Webデザイナーとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。						
【教科書・参考文献】						
JavaScript [完全] 入門、柳井政和、SBクリエイティブ社						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	実習	データベース演習 (SQL)	久良知 眞紀子	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

簡単なデータベースを構築し、SQLによってデータが自由に取り扱えるようになることを目指す。

【講義概要】

データベースの授業で学んだ内容を、XAMPPのデータベース管理システムMariaDBを用いて確認する。
SELECT文によるデータ抽出、CREATE、INSERT、UPDATE、DELETEによる表の作成・更新を学ぶ。
SQL文を7回に分けて復習する。復習した次の回には、その内容を使った演習を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	XAMPPの概要説明、サンプルデータベースのインポート。 サンプルデータを使って、SELECT命令、DISTINCTキーワード、WHERE句の演習を行う。
2	あいまい検索 (LIKE)、論理演算子 (演算子の強度)、並べ替え (ORDER BY) 特定範囲のレコードの抽出 (LIMIT)、日付データの取扱い、NULLの扱い
3	集計、グルーピング (GROUP BY)、別名 (AS)、文字列/日付データの加工 (各種関数) グルーピング結果に対する条件設定 (HAVING)、条件による値の変更 (CASE)
4	テーブル結合 (内部結合、外部結合、自己結合)
5	復習問題 (1回～4回)
6	サブクエリ、複数テーブルからのデータ結合 (UNION)、復習問題 (1回～4回)
7	中間試験 (実施予定なし)
8	仮想テーブルの作成 (VIEW)、データの登録 (INSERT)、更新 (UPDATE)、削除 (DELETE) サブクエリとの組合せ
9	データベース、テーブルの作成・削除 (CREATE、DROP)、
10	総合演習1
11	総合演習2
12	総合演習3
13	総合演習4
14	総合演習5
15	期末試験 (実施予定なし)

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合						100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

① 銀行でシステム開発 (2年) ②ソフトウェア開発会社でシステム開発 (2年) ③起業し、システム開発、教育、翻訳、テクニカルライティング (20年)

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験
専門基礎 必修	実習	Oracle DBA		坂井 剛	有
単位・時間数					
3単位 60時間					

【授業の到達目標及びテーマ】

Oracle管理者として必要なデータベース構成の基本知識、及び初歩的な管理技術の修得を目的とする。
Oracle Master Bronze DBA (2019/12c) 試験の受験を視野に入れた内容となる。

【講義概要】

仮想環境を使い実際にデータベースの構築と管理作業を体験する。
OSのインストール、DBMS構築、運用、障害対策、トラブルシューティングまで演習を通し経験を積む。

回	授業計画及び学習の内容
1	Oracleデータベースのインストールおよびデータベース作成
2	データベースの起動と停止、データベース管理ユーザの基礎理解
3	OracleNet及びネットワーク構成と設定
4	Oracleインスタンスの理解とパラメータ設定
5	データベース記憶域と構成ファイル群
6	SQLを使用したデータベース構築と詳細設定
7	中間試験
8	ユーザアカウントと権限
9	スキーマオブジェクト（ビュー・索引・順序・別名・関数・トリガー）
10	データのバックアップとリストア、データのインポート・エクスポート
11	フラッシュバック機能
12	データベースの監視とアドバイザの利用
13	障害とトラブルシューティング
14	総復習、及び最終演習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

大学院出身後、8年間SEとしてIT業界に携わる。
現在教員としては13年目となる。
※Oracleに関してはOracle10g/11g/12cのSilver所持。

【教科書・参考文献】

『Bronze DBA Oracle Database Fundamentals』（翔泳社）

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	高度情報システム科	2023年		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	CCNA II	坂井 剛	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Cisco社の試験「CCNA」取得を目標とするネットワークに関する初歩の知識とスキルの習得を目指す。

【講義概要】

「CCNAv7: Introduction to Networks」「CCNAv7: Switching, Routing, and Wireless Essentials」のコースに従う。単位修得にはコースが定める試験に加え中間・期末試験に合格する必要がある。

回	授業計画及び学習の内容
1	第1章「デバイスの基本設定」
2	課題演習
3	第2章「スイッチングの概念」
4	課題演習
5	第3章「VLAN」
6	課題演習
7	中間試験
8	第4章「VLAN間ルーティング」
9	課題演習
10	第5章「STPの概要」
11	課題演習
12	第6章「EtherChannel」
13	課題演習
14	期末試験対策と復習演習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

大学院出身後、8年間SEとしてIT業界に携わる。
※CCNA、及びCCNAインストラクターの資格所有。

【教科書・参考文献】

シスコ技術者認定教科書 CCNA 完全合格テキスト&問題集 [対応試験] 200-301 (翔泳社)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験
専門基礎 必修	実習	CCNAⅢ		坂井 剛	有

【授業の到達目標及びテーマ】

Cisco社の試験「CCNA」取得を目標とするネットワークに関する初歩の知識とスキルの習得を目指す。

【講義概要】

「CCNAv7: Introduction to Networks」「CCNAv7: Switching, Routing, and Wireless Essentials」のコースに従う。単位修得にはコースが定める試験に加え中間・期末試験に合格する必要がある。

回	授業計画及び学習の内容
1	第1章「デバイスの基本設定」
2	課題演習
3	第2章「スイッチングの概念」
4	課題演習
5	第3章「VLAN」
6	課題演習
7	中間試験
8	第4章「VLAN間ルーティング」
9	課題演習
10	第5章「STPの概要」
11	課題演習
12	第6章「EtherChannel」
13	課題演習
14	期末試験対策と復習演習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%			20%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

大学院出身後、8年間SEとしてIT業界に携わる。
※CCNA、及びCCNAインストラクターの資格所有。

【教科書・参考文献】

シスコ技術者認定教科書 CCNA 完全合格テキスト&問題集 [対応試験] 200-301 (翔泳社)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	CCNAIV	坂井 剛	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Cisco社の試験「CCNA」取得を目標とするネットワークに関する初歩の知識とスキルの習得を目指す。

【講義概要】

「CCNAv7: Introduction to Networks」「CCNAv7: Switching, Routing, and Wireless Essentials」のコースに従う。単位修得にはコースが定める試験に加え中間・期末試験に合格する必要がある。

回	授業計画及び学習の内容
1	第1章「デバイスの基本設定」
2	課題演習
3	第2章「スイッチングの概念」
4	課題演習
5	第3章「VLAN」
6	課題演習
7	中間試験
8	第4章「VLAN間ルーティング」
9	課題演習
10	第5章「STPの概要」
11	課題演習
12	第6章「EtherChannel」
13	課題演習
14	期末試験対策と復習演習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

大学院出身後、8年間SEとしてIT業界に携わる。
※CCNA、及びCCNAインストラクターの資格所有。

【教科書・参考文献】

シスコ技術者認定教科書 CCNA 完全合格テキスト&問題集 [対応試験] 200-301 (翔泳社)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	CCNAV	坂井 剛	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Cisco社の試験「CCNA」取得を目標とするネットワークに関する初歩の知識とスキルの習得を目指す。

【講義概要】

「CCNAV7: Introduction to Networks」「CCNAV7: Switching, Routing, and Wireless Essentials」のコースに従う。単位修得にはコースが定める試験に加え中間・期末試験に合格する必要がある。

回	授業計画及び学習の内容
1	第1章「デバイスの基本設定」
2	課題演習
3	第2章「スイッチングの概念」
4	課題演習
5	第3章「VLAN」
6	課題演習
7	中間試験
8	第4章「VLAN間ルーティング」
9	課題演習
10	第5章「STPの概要」
11	課題演習
12	第6章「EtherChannel」
13	課題演習
14	期末試験対策と復習演習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

大学院出身後、8年間SEとしてIT業界に携わる。
※CCNA、及びCCNAインストラクターの資格所有。

【教科書・参考文献】

シスコ技術者認定教科書 CCNA 完全合格テキスト&問題集 [対応試験] 200-301 (翔泳社)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	Linux I	鈴木俊	有	3単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
Linuxの利用に必要な基礎知識と基本操作方法（ファイル操作からシステム管理まで）を習得することを目標とする。						
【講義概要】						
回、テーマに沿った演習（実機コマンド操作）を実施する。演習の作業証跡（ログや画面キャプチャ）を提出課題とする。使用するLinuxはRedHat系のAlmaLinux8.6とする。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	Linuxの環境構成、FHSとディレクトリの移動（pwdコマンド、cdコマンドなど）					
2	ファイル操作（cpコマンド、mvコマンド、など）					
3	メタキャラクタの利用					
4	標準入出力とリダイレクト					
5	viエディタ					
6	ストリームエディタ（sedコマンド、パイプライン）					
7	中間試験					
8	シェルスクリプト					
9	ユーザーとグループの管理					
10	所有者管理とアクセス権の設定					
11	プロセス管理					
12	デバイスとファイルシステムの管理					
13	パッケージ管理					
14	システム管理					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%			60%		100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
金融、通信キャリアの構築・運用業務に、インフラ（NW、サーバー）エンジニアとして従事 携帯電話会社のメールシステム構築業務、金融会社のシステム設計・構築業務、等						
【教科書・参考文献】						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	LinuxⅡ	鈴木俊	有	3単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
WebサーバーやDNSサーバーをはじめとする各種Linuxサーバーの構築技術の習得、また、サーバー公開時におけるセキュリティ知識の習得を目標とする。						
【講義概要】						
各回、テーマに沿った演習（実機コマンド操作）を実施する。演習の作業証跡（ログや画面キャプチャ）を提出課題とする。使用するLinuxはRedHat系のAlmaLinux8.6とする。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	Linuxの環境構築					
2	ネットワークの設定					
3	WEBサーバーの構築（Apacheの導入）					
4	WEBサーバーの構築（ApacheのBasic認証、Digest認証の導入）					
5	PHPの利用					
6	PHPとMariaDBの連携					
7	FTPサーバーの構築（VSFTPD）					
8	中間試験					
9	DNSサーバーの構築（DNS概要、BIND）					
10	メールサーバーの構築（Postfix、Dovecot）①					
11	メールサーバーの構築（Postfix、Dovecot）②					
12	アカウントのセキュリティ（PAM）					
13	SSHの公開鍵-秘密鍵を利用した認証					
14	Firewalldの設定					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%			60%		100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
金融、通信キャリアの構築・運用業務に、インフラ（NW、サーバー）エンジニアとして従事 携帯電話会社のメールシステム構築業務、金融会社のシステム設計・構築業務、等						
【教科書・参考文献】						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2023年		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	講義	AI基礎		仲 智弘	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
AIの基礎を理解する。							
【講義概要】							
教員の講義を聞いて問題集を解く。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	AIとは / AIの歴史 / AIでできること：探索、推論						
2	AIでできること：知的表現 / 機械学習・深層学習 / 人工知能分野の問題						
3	高校までの数学復習：分数、割合と比、負の数						
4	高校までの数学復習：文字式、一次関数、二次曲線、極限、微分						
5	回帰分析の基本用語						
6	回帰分析：最小二乗法、単回帰分析、重回帰分析						
7	中間試験						
8	手法の評価 / 分類問題：最尤法、ロジスティック回帰						
9	アンダーフィッティング対策：正則化、Lasso回帰、Ridge回帰、Elastic net						
10	バギング、ランダムフォレスト、ブースティング						
11	単純パーセプトロン、多層パーセプトロン（NNW）、ディープラーニング / 誤差逆伝播法、勾配消失問題、オートエンコーダ（自己符号化器）、積層オートエンコーダ、事前学習、ファインチューニング						
12	ディープラーニングの手法：活性化関数、学習率の最適化、ドロップアウト、early stopping、正規化						
13	ディープラーニングの手法：CNN、転移学習						
14	期末試験対策：ここまでのまとめ						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
	割合	80%			20%		100%
	(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】							
独立系IT企業にてSE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。							
【教科書・参考文献】							
徹底攻略ディープラーニングG検定ジェネラリスト問題集 第2版							

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	高度情報システム科	2023年		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	システム設計	坂本 知美	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報技術者試験にて出題される、ソフトウェア開発の内容について理解することを目標とする。
また、最終的に、初級SEとして各種ドキュメントが読め、簡単なドキュメントを書けることも目指す。

【講義概要】

毎回プリントを配布しながら授業を進める。
講義のほかに、ドキュメントで使用する図を実際に作成する。

回	授業計画及び学習の内容
1	開発計画① システム開発の概要、プロジェクトとは、ソフトウェア開発のプロセスモデル
2	開発計画① 作業量の見積もり、WBSの書き方
3	要件定義① 要件定義とは、業務手順の記述、業務構造の記述
4	要件定義① 決定表、ユースケース図、品質特性
5	設計工程① コード設計
6	設計工程② 画面設計
7	中間試験
8	設計工程③ データ設計
9	設計工程④ モジュール分割
10	設計工程⑤ プログラム設計
11	実装工程 コーディング規約
12	テスト工程① 単体テスト
13	テスト工程② 結合テスト、システムテスト
14	運用保守
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

独立系IT企業の組込み事業部にて、SE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。
・カーオーディオのマイコン制御処理や、他機器との通信処理の開発業務を行った。
・スマートフォンのアプリ開発や、他機器との通信処理の開発業務を行った。

【教科書・参考文献】

IT戦略とマネジメント

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	オペレーションズリサーチ I		阿部 潤子	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

経営工学（OR）の目的は、現実の問題を解決するためのモデルを作成し、そのモデルの最適解を見つけることである。既に確立されてよく利用されるORの手法を幾つか学び、理解する。

【講義概要】

シミュレーション、待ち行列の理論、仕事の順序づけ、線形計画法について講義する。演習問題を解き、OR的なアプローチやモデル化の方法、最適解の求め方などを習得する。

回	授業計画及び学習の内容
1	乱数を用いた確率的シミュレーションの方法を学ぶ。
2	窓口が1つの場合の待ち行列のシミュレーションを行う。
3	窓口が2つの場合の待ち行列シミュレーションを行う。
4	待ち行列ができる簡単なモデルから定常状態の確率分布を求める。
5	待ち行列では到着人数の確率分布はポアソン分布（ポアソン到着）になることを学ぶ。
6	ポアソン到着、指数サービス時間の場合に窓口での待ち人数の確率分布を求める。
7	中間試験（筆記）
8	ポアソン到着、指数サービス時間の場合に窓口での平均待ち時間、平均待ち人数を求める。
9	2種類の仕事を2台の機械で処理する場合の仕事の順序付けを学ぶ（ジョンソンの方法）。
10	n種類の仕事を2台の機械で処理する場合の仕事の順序付けを学ぶ。
11	n種類の仕事を3台の機械で処理する場合の仕事の順序付けを学ぶ。
12	効率の良い生産計画のために、線形計画法を用いて最適解を見つける方法を学ぶ。
13	線形計画法の図解法により最適解を見つける方法を学ぶ。
14	シンプレックス法を使って最適解を見つける方法を学ぶ。
15	期末試験（筆記）

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%		15%	6%		100%

（補足） ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

オペレーションズリサーチ読本（刀根薫著・日本評論社）、初等ORテキスト（OR演習部会編・日科技連）

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	基本情報対策Ⅲ	産学連携	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報技術者試験への合格を目指す。特に本授業では、基本情報技術者試験の科目B試験が解けるような力を養成する。

【講義概要】

基本情報技術者試験の合格を目指し、過去問題を中心に演習を行う。基本的な知識は既に身につけているであろうとの前提のもと、より思考力が問われる科目B問題を中心に演習を進める。また、学習が不十分だと考えられる分野については、適宜、講義形式で説明を実施する。

回	授業計画及び学習の内容
1	疑似言語の基礎
2	配列 1
3	配列 2
4	探索処理 1
5	探索処理 2
6	総合演習 1
7	整列処理 1
8	整列処理 2
9	データ構造 1
10	データ構造 2
11	オブジェクト指向
12	セキュリティ 1
13	セキュリティ 2
14	セキュリティ 3
15	科目B 模擬試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合 (補足)	20%			80%		100%

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

新人研修や社会人教育を行っている教育ベンダから講師を派遣してもらい授業を開講

【教科書・参考文献】

基本情報技術者試験科目B対策問題集、オリジナルテキスト(インフォテックサーブ)

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	高度情報システム科	2023年		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	応用情報対策	井元 和彦	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

情報処理技術の応用的知識・技能を獲得し、応用情報処理技術者試験の合格を目指す。

【講義概要】

応用情報処理技術者試験の過去問演習を通じて、合格に必要なスキルを身に着ける。

回	授業計画及び学習の内容
1	午前対策 ネットワーク
2	午後対策 ネットワーク
3	午前対策 データベース
4	午後対策 データベース
5	午前対策 情報セキュリティ
6	午後対策 情報セキュリティ
7	中間試験
8	午前対策 基礎理論・コンピュータシステム
9	午前対策 アルゴリズムとプログラミング
10	午後対策 プログラミング
11	午前対策 プロジェクトマネジメント
12	午前対策 サービスマネジメント、システム監査
13	午後対策 サービスマネジメント
14	午後対策 システム監査
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%	20%				100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

擬似言語で学ぶアルゴリズム (インフォテックサーブ)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎数学Ⅲ	阿部 潤子	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

情報処理で多く使われる、行列と一次変換、正規分布、相関と回帰法（最小二乗法）を学び、プログラム作成の際に活用できることをめざす。

【講義概要】

図形変換の基礎となる一次変換行列、確率分布モデルとして応用範囲が広い正規分布、統計データの処理に必要である相関と回帰法について講義。毎回の授業では、その実用性を理解するために、多くの問題を解く。

回	授業計画及び学習の内容
1	ベクトルと行列の概念を理解し、ベクトルの計算方法（和、差、スカラー積）を学ぶ（1）
2	ベクトルと行列の概念を理解し、ベクトルの計算方法（和、差、スカラー積）を学ぶ（2）
3	2変数の一次変換と平面上の座標変換の関係を学び、一次変換行列の意味を理解する
4	多変数の一次変換と多次元空間内の座標変換の関係を学び、一次変換行列の意味を理解する
5	行列の計算方法（和、差、積）を学ぶ。一次変換の行列表記を用いて計算をする
6	推移確率行列とマルコフ過程について学び、実用的な応用問題を解く
7	中間試験（筆記）
8	正規分布の性質、標準正規分布の確率の求め方を学ぶ
9	確率変数の標準化により、あらゆる正規分布の問題に対応できることを学ぶ
10	正規分布モデルを適用して応用問題を解く
11	二項分布を正規分布で近似することの妥当性と実用上の有用性を理解する
12	正と負の相関の意味を理解し、相関係数の求め方を学ぶ
13	回帰法と最小二乗法について学ぶ（1）
14	回帰法と最小二乗法について学ぶ（2）
15	期末試験（筆記）

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%		15%	5%		100%

（補足） ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

初等統計学（P. G. ホーエル著・培風館） 情報数学入門（黒沢和人著・共立出版）

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	高度情報システム科	2023年		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	ビジネス数学	氏原 真代	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基本的な数学の考え方、公式を理解する。特に割合の考え方を身につける。把握力・分析力・選択力・予測力・表現力のレベルを上げ、ビジネス数学検定に合格する。

【講義概要】

ビジネス数学検定で出題されるような計算問題を考える力を養う。毎回いろいろな分野の問題を扱うことで、問題に慣れ、自分なりの考え方ができるようにする。

回	授業計画及び学習の内容
1	割合と百分率（1） 原価，定価，利益，値引き，売価，純利益
2	割合と百分率（2） 金利の計算，単利，複利
3	予測力（1） データからの予測，仕事算，作業時間，累積時間
4	予測力（2） 不等式，売上高の比較
5	選択力（1） 評価の重みづけ，期待値
6	百分率と割合・予測力・選択力のまとめ 演習問題
7	中間試験
8	グラフ（1） グラフの種類
9	グラフ（2） グラフを読む，グラフを書く
10	集合 ベン図，集合の法則，顧客調査
11	データの分布（1） 散布図，相関係数
12	データの分布（2） ヒストグラム，バブルチャート
13	選択力（2） 顧客管理
14	グラフ・集合・データ分布・選択力のまとめ 演習問題
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

授業時にプリント配布，ビジネス数学検定3級

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎英語Ⅲ	酒井 智子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基礎英語Ⅱに引き続き応用的な文法事項の定着をはかりつつ、資格試験を含め更に実用的な英文に対応できるような基礎力・応用力を養う。履修後も自学自習が続けていけるような基盤を築いておきたい。

【講義概要】

資格試験の受験を視野に入れて、リスニングや会話表現になじみコミュニケーション能力を身に付ける。小テストや課題をこなし、積極的な取り組みによる成果を得ることで、日常の努力が報われる成功体験を得てもらう。

回	授業計画及び学習の内容
1	Unit 13 日本の事象を英語で説明 [文法：関係副詞] (1)
2	Unit 13 日本の事象を英語で説明 [文法：関係副詞] (2)
3	Unit 14 最後の晚餐 [文法：仮定法①] (1)、TOEIC 演習 (1)
4	Unit 14 最後の晚餐 [文法：仮定法①] (2)、TOEIC 演習 (2)
5	Unit 14 最後の晚餐 [文法：仮定法①] (3)、TOEIC 演習 (3)
6	長文読解、総復習
7	中間試験
8	試験返却・解説、TOEIC 演習 (4)
9	Unit 15 別れの時 [文法：仮定法②] (1)、TOEIC 演習 (5)
10	Unit 15 別れの時 [文法：仮定法②] (2)、TOEIC 演習 (6)
11	Unit 15 別れの時 [文法：仮定法②] (3)、TOEIC 演習 (7)
12	資格試験 (英語検定等) 演習 (1)
13	資格試験 (英語検定等) 演習 (2)
14	資格試験 (英語検定等) 演習 (3)
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	90%	3%	5%	2%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

公立高校教師、外資系化学メーカー勤務を経て2002年より本校非常勤講師 (臨床工学科・臨床検査科・情報学部)。医療系大学の薬学部にて講師経験あり。 取得資格：英検1級、全国通訳案内士、医療通訳士技能検定2級 (日本医療通訳協会)

【教科書・参考文献】

初級英語で紹介するニッポン - 続・イングリッシュ・ワンス・モア! (朝日出版社)、公式TOEIC L&R 問題集、英検過去問、他

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	表現技法	唐戸 民雄	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

前半では日本語についての再確認をする。些細なことでもかまわないので、自分たちの言葉についての意識を持って欲しい。後半は、社会人として仕事していく上での基本、ビジネス文書について学ぶ。

【講義概要】

普段使っている日本語を見直す。また、ビジネスの現場での文書の意義、働き、流れ等を確認する。社会人としての基本を身につける。毎回、日本語の語彙に関する確認の小テストを行う。その他、適宜、講義内容に関連する新たな話題を紹介することもある。大きくシラバスから逸脱することはないが、内容が少し変わることもある。

回	授業計画及び学習の内容
1	表現とは何か
2	表現本能 表現行為 言語について
3	日本語について1 他言語との比較 日本語の特徴 語彙の面から①
4	日本語の特徴 語彙の面から② 表記の面から など
5	日本語の文体 音声言語と文字言語の相違
6	文章の構成 横書き原稿用紙の使い方
7	読点の付け方 中間試験対策
8	中間試験
9	ビジネス文書 概説 問題演習
10	ビジネス文書 社内文書① 問題演習
11	ビジネス文書 社内文書② 問題演習
12	ビジネス文書 社外文書① 問題演習
13	ビジネス文書 社外文書② 問題演習
14	ビジネス文書 まとめ 確認演習問題
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合 (補足)	80%	10%		10%		100%

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

授業時にプリントを配布する。

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	高度情報システム科	2023年		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	B検対策	今村 朋子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ビジネス能力検定3級合格を目指す。
ビジネスの基本的な在り方を学び、実務力とコミュニケーション力をつける。

【講義概要】

ビジネスの基礎知識を学び、検定日までは毎回演習問題を実施し理解を深めます。

回	授業計画及び学習の内容
1	キャリアと仕事へのアプローチ 働く意識 演習問題
2	仕事の基本となる8つの意識 演習問題
3	コミュニケーションとビジネスマナーの基本 演習問題
4	指示の受け方と報告・連絡・相談 演習問題
5	話し方と聞き方のポイント 敬語の種類と必要性 演習問題
6	来客応対と訪問の基本マナー 面談と名刺交換 演習問題
7	中間試験
8	会社関係でのつき合い 冠婚葬祭の基本 演習問題
9	仕事への取り組み方 定型業務と否定形業務 演習問題
10	ビジネス文書の基本 社内文書・社外文書・社交文書 演習問題
11	電話応対 電話の受け方・かけ方 取りつぎの仕方 演習問題
12	統計・データの読み方・まとめ方 表とグラフ 演習問題
13	情報収集とメディアの活用 インターネット・新聞 演習問題
14	会社を取り巻く環境と経済の基本 求められる人材とは 演習問題
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

都内専門学校勤務を経て、大手メーカー研修事業部、大学・短大オープンカレッジ、男女共同参画センター等でビジネスマナー、秘書検定講師を務める。著作：「わかる! 秘書検定 2級・3級 テキスト&問題集」日本経済新聞出版社

【教科書・参考文献】

各クラス共通 「ビジネス能力検定3級」テキスト及び問題集

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023 年		2 年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅱ	高度情報システム科 担当教員	無	1.5 単位 30 時間

【授業の到達目標及びテーマ】

学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。
 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。
 心身の健全な育成を目指しています。

【講義概要】

この授業は、学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	学園祭準備（1日目、2日目）
3	
4	
5	学園祭（1日目）
6	
7	
8	学園祭（2日目）、後片づけ
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	(出席と取り組む姿勢)	合計
割合					100%	100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	Java演習Ⅱ	末満 直樹	有	3単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
Java による通信プログラムの作成方法を習得する。						
【講義概要】						
TCP/IP (TCPおよびUDP) プロトコルによる通信プログラムを作成する為に必要なJavaのコアAPIを学ぶ。 実習に際しては作業工程中に順次チェックを行う。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	復習 (インスタンス、クラス、メソッド、フィールド、コンストラクタ、継承、配列、修飾子、Swingなど)					
2	Swing (JList、JCheckBox、ItemEvent、ItemListener)、入出力 (InputStream、OutputStreamなど)					
3	入出力 (URL、URLConnection、Fileクラス)、マルチスレッド (Threadクラス、Runnableインタフェース)					
4	マルチスレッド、Swing (JScrollBar、JScrollPane、AdjustmentEvent、AdjustmentListener)、入出力 (BufferedInputStream、BufferedReader)					
5	ソケット通信とは					
6	TCPIによる通信 (Socket、ServerSocketクラス)					
7	復習					
8	TCPIによる通信 (Socket、ServerSocketクラス)					
9	TCPIによる通信 (Socket、ServerSocketクラス)					
10	TCPIによる通信 (Socket、ServerSocketクラス)					
11	TCPIによる通信 (Socket、ServerSocketクラス)					
12	UDPIによる通信 (DatagramSocket、.DatagramPacketクラス)					
13	UDPIによる通信 (DatagramSocket、.DatagramPacketクラス)					
14	UDPIによる通信 (DatagramSocket、.DatagramPacketクラス)					
15	復習・まとめ					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%		10%	10%		100%
(補足)	・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】						
IT企業でソフトウェアの開発業務に従事。						
【教科書・参考文献】						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Java演習Ⅲ	末満 直樹	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Javaによるリレーショナルデータベースのアクセス方法を学ぶ。

【講義概要】

JavaのJDBCによるデータベースアクセスの方法を実習により理解する。
実習に際しては作業工程中に順次チェックを行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	JDBC とは
2	SQL復習、java.sql パッケージ
3	RDBMSへの接続 (JDBC ドライバ、DriverManager クラス、Connection クラス、SQLException クラス)
4	データ検索：クエリ (Statement クラス、ResultSet クラス)、Oracle データベースの列 (フィールド) 型
5	データ検索：クエリ (Statement クラス、ResultSet クラス)
6	データ検索：クエリ (Statement クラス、ResultSet クラス)
7	SQLインジェクションと対策方法
8	スクロール可能結果セット、データ検索：クエリ (PreparedStatement クラス、ResultSet クラス)
9	スクロール可能結果セット、データ検索：クエリ (PreparedStatement クラス、ResultSet クラス)
10	データの追加 (Statement クラス、PreparedStatement クラス、ResultSet クラス)
11	データの追加 (Statement クラス、PreparedStatement クラス、ResultSet クラス)
12	データの更新 (Statement クラス、PreparedStatement クラス、ResultSet クラス)
13	データの更新 (Statement クラス、PreparedStatement クラス、ResultSet クラス)
14	データの削除 (Statement クラス、PreparedStatement クラス、ResultSet クラス)
15	データの削除 (Statement クラス、PreparedStatement クラス、ResultSet クラス)

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%		10%	10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

IT企業でソフトウェアの開発業務に従事。

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	講義	Java文法Ⅱ	末満 直樹	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
Java による通信プログラムの作成方法を習得する。						
【講義概要】						
TCP/IP (TCPおよびUDP) プロトコルによる通信プログラムを作成する為に必要なJavaのコアAPIを学ぶ。 実習に際しては作業工程中に順次チェックを行う。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	復習 (インスタンス、クラス、メソッド、フィールド、コンストラクタ、継承、配列、修飾子、Swingなど)					
2	Swing (JList、JCheckBox、ItemEvent、ItemListener)、入出力 (InputStream、OutputStreamなど)					
3	入出力 (URL、URLConnection、Fileクラス)、マルチスレッド (Threadクラス、Runnableインタフェース)					
4	マルチスレッド、Swing (JScrollBar、JScrollPane、AdjustmentEvent、AdjustmentListener)、入出力 (BufferedInputStream、BufferedReader)					
5	ソケット通信とは					
6	TCPIによる通信 (Socket、ServerSocketクラス)					
7	中間試験					
8	TCPIによる通信 (Socket、ServerSocketクラス)					
9	TCPIによる通信 (Socket、ServerSocketクラス)					
10	TCPIによる通信 (Socket、ServerSocketクラス)					
11	TCPIによる通信 (Socket、ServerSocketクラス)					
12	UDPIによる通信 (DatagramSocket、.DatagramPacketクラス)					
13	UDPIによる通信 (DatagramSocket、.DatagramPacketクラス)					
14	UDPIによる通信 (DatagramSocket、.DatagramPacketクラス)					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%		10%	10%		100%
(補足)	・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】						
IT企業でソフトウェアの開発業務に従事。						
【教科書・参考文献】						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Python	稲垣 高宏	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Pythonを全く知らないところから使えるようにする。

【講義概要】

実習中心として、なるべく多くのプログラムを実習する。
中間と期末試験は場合によっては実習形式で行う。実習中心とする。

回	授業計画及び学習の内容
1	基礎
2	文字列・四則演算
3	変数
4	リスト・タプル
5	辞書
6	関数の利用。関数の作成。ラムダ式。
7	練習問題
8	クラス
9	クラスの継承
10	GUI
11	CANVAS
12	after(タイマー)
13	ファイル処理
14	総合演習1
15	総合演習2

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	60%			40%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

メーカー系IT企業でSE、プログラマとして開発業務に従事する。退職後に、シグマプロジェクトの研究員を務める。20代で起業して外資系やメーカー系の会社などを中心に開発業務に従事する。開発のほかに、マニュアルなどの翻訳や出版業務も行う。

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科		2023年		3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	モバイルアプリケーション開発		仲 智弘	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Androidでの実践的なプログラミング技術の習得。

【講義概要】

Androidアプリ制作。

回	授業計画及び学習の内容
1	開発環境構築、Android Studio1について、Hello World アプリ作成
2	イベントドリブン
3	ListView
4	ダイアログ
5	ConstraintLayout
6	画面遷移、Intent
7	総復習
8	オプションメニュー、コンテキストメニュー
9	データベースアクセス
10	データベースアクセス
11	非同期処理
12	非同期処理
13	メディア再生
14	バックグラウンド処理、通知機能
15	総復習

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	60%			40%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

SE/PG としてシステム開発業務に4年間従事。

【教科書・参考文献】

基礎&応用力をしっかりと育成! Androidアプリ開発の教科書

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験
専門 必修	講義	UML I		潮 達也	有
2単位 30時間					

【授業の到達目標及びテーマ】

到達目標はシステム開発の実践の場で要件定義、基本設計、詳細設計、プログラム設計等でUMLを活用できるようになること。テーマはAstah Professionalを使いシステム要件に応じたダイアグラムが作成出来るようになること

【講義概要】

実習科目であるのでAstah Professionalの統合環境を使いこなし、基本表記から応用した表記までオブジェクトをどう捉えどう表現するかが実践出来るようにポイントを捉えて、描けるように学習していきたい

回	授業計画及び学習の内容
1	UMLとは オブジェクト指向とは Astah professionalツールの使用法とダイアグラムの種類の説明
2	ユースケース図 特徴 表記ルール アクターとユースケース オブジェクト間の関係
3	ユースケース図 関連 包含 拡張 汎化 演習問題(基本問題)
4	ユースケース図 演習問題(応用問題 実践問題 解放の手引き)
5	オブジェクト図 特徴 表記ルール 属性 関係 インスタントとクラス
6	オブジェクト図 演習問題(基本問題 応用問題 解放の手引き)
7	中間試験
8	クラス図 特徴 表記ルール 属性 操作 可視性 多重度 ロール クラスの関係
9	クラス図 関連 複数関連 集約 依存 汎化 コンポジション 実現 抽象クラス
10	クラス図 演習問題(基本問題 応用問題)
11	クラス図 演習問題(応用問題 実践問題)
12	シーケンス図 特徴 表記ルール 同期メッセージ 非同期メッセージ リプライメッセージ
13	シーケンス図 ロストメッセージ ファウンドメッセージ 実行指定
14	シーケンス図 演習問題(基本問題 応用問題 実践問題)
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	60%・15%	10%	5%	10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

独立系IT企業で、プロマネ、リーダー、SEとして数々の開発に従事中

【教科書・参考文献】

技術評論社 かんたんUML入門 [改訂2版]

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験
専門 必修	講義	UML II		潮 達也	有
2単位 30時間					

【授業の到達目標及びテーマ】

到達目標はシステム開発の実践の場で要件定義、基本設計、詳細設計、プログラム設計等でUMLを活用できるようになること。テーマはAstah Professionalを使いシステム要件に応じたダイアグラムが作成出来るようになること

【講義概要】

前期からの継続で、ダイアグラムの章ごとに基本的表現方法を実習し、基本演習問題から応用演習問題を行い理解度を把握、その演習問題のポイントと解法を解説し、ダイアグラムの表記法とその使用法をマスターする

回	授業計画及び学習の内容					
1	シーケンス図	制御構造化表現の表記法	条件分岐	条件判断	繰り返し	break パラレル クリティカル
2	シーケンス図	基本演習問題	応用演習問題	演習の解法・解説		
3	コミュニケーション図	ライフライン表記法	メッセージの種類・表記法			
4	コミュニケーション図	の表現する相互作用	基本演習問題	応用演習問題	演習の解法・解説	
5	ステートマシン図	基本的表記法	状態遷移の表記法	状態の階層化	疑似状態	状態再利用 拡張の表記
6	ステートマシン図	基本演習問題	応用演習問題	演習の解法・解説		
7	中間試験					
8	アクティビティ図	基本的表記法	並行処理の表記法	表記上の注意点		
9	アクティビティ図	基本演習問題	応用演習問題	演習の解法・解説		
10	パッケージ図	基本的表記法	パッケージ図の描き方	表記上の注意点		
11	コンポーネント図	基本的表記法	描き方	表記上の注意点		
12	配置図	基本的表記法	配置図の描き方	表記上の注意点		
13	合成構造図	基本的表記法	合成構造図の描き方	合成構造図の注意点		
14	総合演習1	総合的基本問題	総合的演習問題			
15	期末試験					

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	70%	10%	10%	10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

独立系IT企業で、プロマネ、リーダー、SEとして数々の開発に従事中

【教科書・参考文献】

かんたんUML入門 技術評論社

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	CCNAVI	末満 直樹	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ベンダー試験「CCNA Routing and Switching」に準拠したネットワークに関するスキルの習得を目指す。

【講義概要】

シスコネットワークングアカデミーのコースウェア（CCNA Routing and Switching：Scaling Networks）に従って実施する。

回	授業計画及び学習の内容
1	「Scaling Networks」オリエンテーション、予備試験、第1章 ネットワーク拡張の概要
2	第1章 章末試験、第2章 LANの冗長性
3	第2章 LANの冗長性
4	第2章 章末試験、第3章 リンク集約
5	第3章 リンク集約
6	第3章 章末試験、第4章 無線LAN
7	中間試験
8	第4章 章末試験、第5章 シングルエリアOSPFの調整とトラブルシューティング
9	第5章 シングルエリアOSPFの調整とトラブルシューティング
10	第5章 章末試験、第6章 マルチエリアOSPF
11	第6章 章末試験、第7章 EIGRP
12	第7章 章末試験、第8章 EIGRPの高度な設定とトラブルシューティング
13	第8章 章末試験、第9章 IOSイメージとライセンス
14	第9章 章末試験
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%		10%	10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

IT企業でソフトウェアの開発業務に従事。

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	CCNAVⅦ		未満 直樹	有	1.5単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ベンダー試験「CCNA Routing and Switching」に準拠したネットワークに関するスキルの習得を目指す。

【講義概要】

シスコネットワークングアカデミーのコースウェア（CCNA Routing and Switching：Scaling Networks）に従って実施する。

回	授業計画及び学習の内容
1	「Scaling Networks」オリエンテーション、予備試験、第1章 ネットワーク拡張の概要
2	第1章 章末試験、第2章 LANの冗長性
3	第2章 LANの冗長性
4	第2章 章末試験、第3章 リンク集約
5	第3章 リンク集約
6	第3章 章末試験、第4章 無線LAN
7	第4章 無線LAN
8	第4章 章末試験、第5章 シングルエリアOSPFの調整とトラブルシューティング
9	第5章 シングルエリアOSPFの調整とトラブルシューティング
10	第5章 章末試験、第6章 マルチエリアOSPF
11	第6章 章末試験、第7章 EIGRP
12	第7章 章末試験、第8章 EIGRPの高度な設定とトラブルシューティング
13	第8章 章末試験、第9章 IOSイメージとライセンス
14	第9章 章末試験
15	修了試験認定試験（オンライン、実技）

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%		10%	10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

IT企業でソフトウェアの開発業務に従事。

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	CCNAⅧ	未満 直樹	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

複雑なネットワーク同士を適切に接続し運用するために必要なWANテクノロジーやネットワークサービスに関して、深く理解することを目的とする。

【講義概要】

Cisco Networking Academy 『CCNA R&S: Connecting Networks』に従い講義を実施。また過去のCCNA R&Sコースの総合復習も実施。

回	授業計画及び学習の内容
1	第1章 階層型ネットワーク設計
2	第2章 WANへの接続
3	第3章 ポイントツーポイント接続
4	第4章 フレームリレー
5	第5章 IPv4のネットワークアドレス変換
6	1～5章のまとめ
7	中間試験
8	第6章 ブロードバンドソリューション
9	第7章 サイト間接続のセキュリティ保護
10	第8章 ネットワークの監視
11	第9章 ネットワークのトラブルシューティング
12	6～9章のまとめ
13	FinalExam準備
14	FinalExam
15	FinalExam

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%		10%	10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

IT企業でソフトウェアの開発業務に従事。

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験
専門 必修	実習	CCNAIX		未満 直樹	有

【授業の到達目標及びテーマ】

複雑なネットワーク同士を適切に接続し運用するために必要なWANテクノロジーやネットワークサービスに関して、深く理解することを目的とする。

【講義概要】

Cisco Networking Academy 『CCNA R&S: Connecting Networks』に従い講義を実施。また過去のCCNA R&Sコースの総合復習も実施。

回	授業計画及び学習の内容
1	第1章 階層型ネットワーク設計
2	第2章 WANへの接続
3	第3章 ポイントツーポイント接続
4	第4章 フレームリレー
5	第5章 IPv4のネットワークアドレス変換
6	実技演習① (第1～5章)
7	第6章 ブロードバンドソリューション
8	第7章 サイト間接続のセキュリティ保護
9	第8章 ネットワークの監視
10	第9章 ネットワークのトラブルシューティング
11	実技演習② (第6～9章)
12	CCNA R&S 総合復習、総合演習
13	SBA(実技試験)準備
14	SBA
15	SBA

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%		10%	10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

IT企業でソフトウェアの開発業務に従事。

【教科書・参考文献】

Networking Academy の公式資料を使用。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	LinuxⅡ	鈴木俊	有	3単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
WebサーバーやDNSサーバーをはじめとする各種Linuxサーバーの構築技術の習得、また、サーバー公開時におけるセキュリティ知識の習得を目標とする。						
【講義概要】						
各回、テーマに沿った演習（実機コマンド操作）を実施する。演習の作業証跡（ログや画面キャプチャ）を提出課題とする。使用するLinuxはRedHat系のAlmaLinux8.6とする。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	Linuxの環境構築					
2	ネットワークの設定					
3	WEBサーバーの構築（Apacheの導入）					
4	WEBサーバーの構築（ApacheのBasic認証、Digest認証の導入）					
5	PHPの利用					
6	PHPとMariaDBの連携					
7	FTPサーバーの構築（VSFTPD）					
8	中間試験					
9	DNSサーバーの構築（DNS概要、BIND）					
10	メールサーバーの構築（Postfix、Dovecot）①					
11	メールサーバーの構築（Postfix、Dovecot）②					
12	アカウントのセキュリティ（PAM）					
13	SSHの公開鍵-秘密鍵を利用した認証					
14	Firewalldの設定					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%			60%		100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
金融、通信キャリアの構築・運用業務に、インフラ（NW、サーバー）エンジニアとして従事 携帯電話会社のメールシステム構築業務、金融会社のシステム設計・構築業務、等						
【教科書・参考文献】						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	データサイエンス基礎 I	鹿子木 範昭	無	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

データサイエンスの基礎的理解および知識の習得とその適用

【講義概要】

主にEXCELを使ったデータ分析・解析を中心に学ぶ。統計基礎知識についても解説していく。

回	授業計画及び学習の内容
1	統計学とデータサイエンス
2	社会におけるデータ・AIの利活用
3	EXCELで始めるデータ分析の基本（1）
4	EXCELで始めるデータ分析の基本（2）
5	EXCELVBAの活用（1）
6	EXCELVBAの活用（2）
7	中間試験
8	EXCELを使ったシミュレーション
9	さまざまな統計分析（1）
10	さまざまな統計分析（2）
11	さまざまな統計分析（3）
12	さまざまな統計分析（4）
13	実際の公的データを使ったデータ分析
14	実際のデータサイエンスで起こる問題
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%	30%		10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

データサイエンス入門 Excelで学ぶ統計データの見方・使い方・集め方（オーム社）

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	データサイエンス基礎Ⅱ	鹿子木 範昭	無	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

実際の現場ではどのようにデータ分析が行われるのかを実習を通して理解する

【講義概要】

データの加工方法、機械学習、最適化技術、AI技術についてマンンでいきます。

回	授業計画及び学習の内容
1	Pythonの基本的なプログラミング
2	Webからの注文数を分析する
3	小売店のデータ加工を行う
4	顧客の全体像を把握する
5	顧客の行動を予測する
6	顧客の退会を予測する
7	中間試験
8	物流の最適ルートをコンサルティングする
9	ロジスティクスネットワークの最適設計を行う
10	数値シミュレーションで消費者行動を予測する
11	潜在顧客を把握するための画像認識
12	アンケート分析を行うための自然言語処理
13	深層学習に挑戦する
14	期末試験
15	1/0

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	70%	20%		10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	高度情報システム科	2023年		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	AI基礎	仲 智弘	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

AIの基礎を理解する

【講義概要】

教員の講義を聞いて問題集を解く。

回	授業計画及び学習の内容
1	高校までの数学復習：分数、割合と比、負の数
2	高校までの数学復習：文字式、一次関数、二次曲線、極限、微分
3	AIとは / AIの歴史 / AIでできること：探索、推論
4	AIでできること：知識表現 / 機械学習・深層学習 / 人工知能分野の問題
5	回帰分析の基本用語
6	回帰分析：最小二乗法、単回帰分析、重回帰分析、白色化
7	中間試験
8	手法の評価 / 分類問題：最尤法、ロジスティック回帰
9	アンダーフィッティング対策：正則化、Lasso回帰、Ridge回帰、Elastic net
10	バギング、ランダムフォレスト、ブースティング
11	単純パーセプトロン、多層パーセプトロン (NNW)、ディープラーニング / 誤差逆伝播法、特徴量
12	活性化関数、勾配消失問題、オートエンコーダ (自己符号化器) ファインチューニング、転移学習
13	ディープラーニングの手法：学習率の最適化、ドロップアウト、early stopping、データの正規化
14	ディープラーニングの手法：CNN
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	60%			40%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

独立系IT企業にてSE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		3年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	事例研究	未満 直樹	有	3単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
様々な授業で学んできた技術・技法を実践し習得だけでなく、未知の内容に関しても自ら積極的に学ぶことを目指す。						
【講義概要】						
各自で企画・立案した企画・仕様に基づき、一連のプログラム群（システム）を開発する。中間発表、最後に展示会を行い成果を示す。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	企画・仕様書作成（目的、テーマ、概要、研究方法、スケジュール、参考資料等）					
2	製作作業					
3	製作作業					
4	製作作業					
5	製作作業					
6	製作作業					
7	中間発表（プレゼンテーション）					
8	製作作業					
9	製作作業					
10	製作作業					
11	製作作業					
12	製作作業					
13	製作作業					
14	製作作業、仕様書（最終）作成、展示会準備					
15	展示会					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%		10%	10%		100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
IT企業でソフトウェアの開発業務に従事。						
【教科書・参考文献】						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験
専門基礎 必修	講義	オペレーションズリサーチⅡ		阿部 潤子	無

【授業の到達目標及びテーマ】

PERT・CPMと在庫管理について具体的に学ぶ。これらは生産システムを管理する際に重要で、実用性の高いものであることを理解する。多くの例題や問題を解くことで、活用できることをめざす。

【講義概要】

PERT(日程計画の図式化)の講義と演習の後、日程短縮の方法(CPM)を講義し、演習問題を解く。最適在庫量について学び、演習問題を解くことにより、在庫管理の方法を習得する。

回	授業計画及び学習の内容
1	PERTの目的を理解する。作業リストに従って矢線図を描くことを学ぶ。
2	結合点時刻とクリティカルパス最早結合点時刻と最遅結合点時刻について学ぶ。
3	最早(最遅)開始時刻と最早(最遅)終了時刻、総(自由)余裕時間について学ぶ。
4	各作業の作業費用の増加が一律の場合に、日程を短縮する方法を学ぶ。
5	各作業の費用勾配を考慮して、最少の費用で日程を短縮する方法を学ぶ(CPM1)。
6	各作業の費用勾配を考慮して、最少の費用で日程を短縮する方法を学ぶ(CPM2)
7	中間試験(筆記)
8	在庫にかかる費用から、最適在庫量の必要性、在庫管理の重要性を理解する。
9	一定需要のもとでの最適発注量、発注費用、在庫維持費用、EOQ公式について学ぶ。
10	不確定需要のもとでの最適発注量、品切れ費用、過剰在庫費用の求め方について学ぶ。
11	定量発注方式による在庫管理、および発注量と発注点について学ぶ。
12	定期発注方式による在庫管理、および発注間隔と在庫水準について学ぶ。
13	安全在庫、ABC分析について学ぶ(1)。
14	安全在庫、ABC分析について学ぶ(2)。
15	期末試験(筆記)

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	80%		15%	5%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

情報処理基礎講座8工業(水原邦保著・マグロウヒル) 初等ORテキスト(OB演習部会編・日科技連)

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	高度情報システム科	2023年		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	応用情報対策	井元 和彦	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

情報処理技術の応用的知識・技能を獲得し、応用情報処理技術者試験の合格を目指す。

【講義概要】

応用情報処理技術者試験の過去問演習を通じて、合格に必要なスキルを身に着ける。

回	授業計画及び学習の内容
1	午前対策 ネットワーク
2	午後対策 ネットワーク
3	午前対策 データベース
4	午後対策 データベース
5	午前対策 情報セキュリティ
6	午後対策 情報セキュリティ
7	中間試験
8	午前対策 基礎理論・コンピュータシステム
9	午前対策 アルゴリズムとプログラミング
10	午後対策 プログラミング
11	午前対策 プロジェクトマネジメント
12	午前対策 サービスマネジメント、システム監査
13	午後対策 サービスマネジメント
14	午後対策 システム監査
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%	20%				100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

擬似言語で学ぶアルゴリズム (インフォテックサーブ)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	応用数学 I	氏原 真代	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

数学の基礎から、微分積分学や微分方程式など、高度な応用数学を身につけさせることを目的とする。

【講義概要】

数学の基礎から、微分積分学や微分方程式など、高度な応用数学を学習する。また、物理数学を含めた物理的な考えなどもあわせて学習する。

回	授業計画及び学習の内容
1	数と関数 数の性質・関数とグラフ・偶関数と奇関数
2	指数・有効数字 指数の取り扱いや有効数字の扱い
3	指数と対数(1) 指数関数・指数法則
4	指数と対数(2) 対数関数・対数の性質
5	単位と単位系 国際単位系(SI単位)・接頭語・単位の変換
6	関数・指数・対数・単位系のまとめ 演習問題
7	中間試験
8	三角関数(1) 弧度法・三角比・重要な公式
9	三角関数(2) 加法定理・加法定理から導かれる公式
10	微分(1) 極限値の性質
11	微分(2) 導関数
12	微分(3) 微分公式①
13	微分(4) 微分公式②
14	三角関数・微分のまとめ 演習問題
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	80%	10%		10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

授業時にプリント配布, 講義の際に紹介

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	高度情報システム科	2023年		3年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	電気基礎	氏原 真代	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基本的な電気の考え方、公式を理解する。公式を使った計算ができるようになり、基礎学力を身につけさせることを目的とする。

【講義概要】

電気の基礎から、直列回路や回路素子、電磁気や電磁誘導などを学習する。また、物理数学を含めた物理的な考えなどもあわせて学習する。

回	授業計画及び学習の内容
1	電流と電圧
2	電気回路・オームの法則
3	合成抵抗・直並列回路
4	キルヒホッフの法則
5	電力と電力量
6	直流回路と回路素子
7	前半のまとめ
8	中間試験
9	電流が作る磁界・磁気回路
10	電磁力
11	電磁誘導作用
12	静電気とコンデンサ
13	交流回路・ADコンバータ
14	後半のまとめ
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%	10%		10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

授業時にプリント配布、講義の際に紹介

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験
一般教育 必修	講義	一般常識Ⅰ		唐戸 民雄	無

【授業の到達目標及びテーマ】

基本的な計算力、一般的な漢字の読み、社会科系統・理科系統の基本的な知識を再確認する。

【講義概要】

言語事項の確認、社会科系統（地理・歴史・政治経済）、理科系統（物理・化学・地学・生物）などの基礎知識、就職試験、SPIなどでも出題される早さ、通貨算、鶴亀算などを確認する。毎回、確認テストを行う。

回	授業計画及び学習の内容			
1	言語事項の確認1	社会科系統1	理数系統1	確認テスト1
2	言語事項の確認2	社会科系統2	理数系統2	確認テスト2
3	言語事項の確認3	社会科系統3	理数系統3	確認テスト3
4	言語事項の確認4	社会科系統4	理数系統4	確認テスト4
5	言語事項の確認5	社会科系統5	理数系統5	確認テスト5
6	言語事項の確認6	社会科系統6	理数系統6	確認テスト6
7	言語事項の確認7	社会科系統7	理数系統7	確認テスト7
8	中間試験			
9	言語事項の確認8	社会科系統8	理数系統8	確認テスト8
10	言語事項の確認9	社会科系統9	理数系統9	確認テスト9
11	言語事項の確認10	社会科系統10	理数系統10	確認テスト10
12	言語事項の確認11	社会科系統11	理数系統11	確認テスト11
13	言語事項の確認12	社会科系統12	理数系統12	確認テスト12
14	言語事項の確認13	社会科系統13	理数系統13	確認テスト13
15	期末試験			

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合 (補足)	80%	10%		10%		100%

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

授業時にプリントを配付する。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験
一般教育 必修	講義	一般常識Ⅱ		唐戸 民雄	有
2単位 30時間					

【授業の到達目標及びテーマ】

基本的な計算力、一般的な漢字の読み、社会科系統・理科系統の基本的な知識を再確認する。

【講義概要】

言語事項の確認、社会科系統（地理・歴史・政治経済）、理科系統（物理・化学・地学・生物）などの基礎知識、就職試験、SPIなどでも出題される早さ、通貨算、鶴亀算などを確認する。毎回、確認テストを行う。

回	授業計画及び学習の内容			
1	言語事項の確認1	社会科系統1	理数系統1	確認テスト1
2	言語事項の確認2	社会科系統2	理数系統2	確認テスト2
3	言語事項の確認3	社会科系統3	理数系統3	確認テスト3
4	言語事項の確認4	社会科系統4	理数系統4	確認テスト4
5	言語事項の確認5	社会科系統5	理数系統5	確認テスト5
6	言語事項の確認6	社会科系統6	理数系統6	確認テスト6
7	言語事項の確認7	社会科系統7	理数系統7	確認テスト7
8	中間試験			
9	言語事項の確認8	社会科系統8	理数系統8	確認テスト8
10	言語事項の確認9	社会科系統9	理数系統9	確認テスト9
11	言語事項の確認10	社会科系統10	理数系統10	確認テスト10
12	言語事項の確認11	社会科系統11	理数系統11	確認テスト11
13	言語事項の確認12	社会科系統12	理数系統12	確認テスト12
14	言語事項の確認13	社会科系統13	理数系統13	確認テスト13
15	期末試験			

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合 (補足)	80%	10%		10%		100%

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

授業時にプリントを配付する。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	就職対策Ⅰ	鈴木俊	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

自分にあった職に就くために行うとよい「自己分析」と「自己PR文の作成」の基本的な方法を習得することを目標とする。

【講義概要】

各回、テーマに沿ったグループワーク、グループディスカッションを実施する。各回のワークに参加することを課題として、ワークを通じて記入したシートを提出する。

回	授業計画及び学習の内容
1	グループディスカッション（自分の「モノの見方」を考える）
2	グループディスカッション（よい就職とは何かを考える。職業選択理論）
3	グループディスカッション（自分が就職に求めるもの考える）
4	グループディスカッション（トレードオフを考える）
5	グループディスカッション（少子高齢化・人口減少）
6	中間試験
7	グループディスカッション（他己紹介）
8	個人ワーク（自己PR作成）
9	グループワーク（伝わりやすい文章の構成を考える①（論理の構成））
10	グループワーク（伝わりやすい文章の構成を考える②（グルーピング））
11	グループワーク（伝わりやすい文章の構成を考える③（因果関係））
12	グループワーク（伝わりやすい文章の構成を考える④（文章のブラッシュアップ方法））
13	個人ワーク（自己PRの構成と文章化）
14	グループディスカッション（職種・業界知識）
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%			60%		100%

（補足） ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

インフラ（NW、サーバー）のIT会社にて、営業、人事・労務管理、求人・採用業務に従事

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	就職対策Ⅱ	鈴木俊	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

自分に合った仕事・働き方・志望企業を考える力をつける。また、その志望を実現していくために必要となる自己PR方法やビジネススキルの基本を身につけることを目標とする。

【講義概要】

各回のテーマに関するワーク（個人ワーク、グループワーク、グループディスカッション）を実施する。ワークを通じて作成したシートを課題として提出する。

回	授業計画及び学習の内容
1	グループディスカッション（会社選びのものさしを考える）①
2	グループディスカッション（会社選びのものさしを考える）②
3	グループディスカッション（職種を考える）
4	グループディスカッション（雇用形態を考える）
5	グループディスカッション（仕事内容ごとの働き方の特徴を考える）
6	グループディスカッション（自分のキャリアプランを考える）
7	中間試験
8	ビジネスメールの書き方、注意点①
9	ビジネスメールの書き方、注意点②
10	面接対策（面接でやってはいけないこと）
11	面接対策（自己PR・志望動機を口頭で伝える際の注意点と練習）①
12	面接対策（自己PR・志望動機を口頭で伝える際の注意点と練習）②
13	グループディスカッション対策①（取り組む際の考え方、注意点）
14	グループディスカッション対策②（取り組む際の考え方、注意点）
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%			60%		100%

（補足） ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

インフラ（NW、サーバー）のIT会社にて、営業、人事・労務管理、求人・採用業務に従事

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		3年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	ビジネスマナーⅡ	今村 朋子	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
就職活動に役立ち、且つ社会人としても通用するビジネスマナーを身につける。 併せて良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法、日常生活での基本的なマナーの見直しも行う。						
【講義概要】						
授業は講義と参加型の実習を取り入れ、主体的に発信する力を伸ばし、共感的に受信する力を広げることを目標とする。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	なぜ「ビジネスマナー」が必要なのか 今後の就職活動を踏まえ、社会人となる自己認識を高める 返事と挨拶、礼節としての「お辞儀」 学生と社会人の違い 守秘義務 コンプライアンス					
2	「身だしなみ」について 第一印象の形成、重要性 初対面での注意点					
3	ビジネスマナーの基本 「人間関係」の大切さ 的確な報告、連絡、相談の方法					
4	コミュニケーションの重要性 「聞くこと」「話すこと」の正しい姿勢、「よい話し方」の基本					
5	敬語① 正確な敬語を使いこなす T、P、Oに合わせた言葉遣い					
6	敬語② 接遇用語・接遇のマナー 「ホスピタリティ」と「サービス」					
7	中間試験					
8	電話の対応① 電話対応の注意点 「受け方」の基本 苦情電話、間違い電話などへの対応					
9	電話の対応② 電話対応の注意点 「掛け方」の基本 伝言メモの作成					
10	訪問のマナー 名刺の取り扱いかた 名刺交換の手順 紹介の仕方					
11	応接のマナー お茶の出し方 席次のルール 応接室、車、乗り物の席次					
12	交際のマナー① 慶事・弔事における決まりごと パーティでのマナー					
13	交際のマナー② お中元、お歳暮 賀寿、お礼状など 交際のルール					
14	総復習 「仕事の穴」に落ちないために 「人としての魅力」で、仕事の結果につなげよう					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%
(補足)	・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】						
都内専門学校勤務を経て、大手メーカー研修事業部、大学・短大オープンカレッジ、男女共同参画センター等でビジネスマナー、秘書検定講師を務める。著作：「わかる! 秘書検定 2級・3級 テキスト&問題集」日本経済新聞出版社						
【教科書・参考文献】						
各クラス共通 「社会でいきる 実践ビジネスマナー」						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023 年		3 年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅲ	高度情報システム科 担当教員	有	1.5 単位 30 時間

【授業の到達目標及びテーマ】

学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。
学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。
心身の健全な育成を目指しています。

【講義概要】

この授業は学園祭（準備 2 日間、学園祭 2 日間）の参加を以て、評価します。

回 授業計画及び学習の内容

1	
2	学園祭準備（1 日目、2 日目）
3	
4	
5	学園祭（1 日目）
6	
7	
8	学園祭（2 日目）、後片づけ
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席と取り組む姿勢）	合計
割合					100%	100%

（補足）
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		4年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	講義	LPIC/LinuC対策Ⅱ	平塚 悠生	無	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
LPIC101を取得する。						
【講義概要】						
CentOSの基本的な操作を習得していることを前提として、LPIC101試験対策に特化した知識の整理を行う。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	テキスト3章					
2	テキスト3章					
3	テキスト3章					
4	テキスト4章					
5	テキスト4章					
6	テキスト4章					
7	中間試験					
8	テキスト5章					
9	テキスト5章					
10	テキスト1章					
11	テキスト1章					
12	テキスト1章					
13	テキスト2章					
14	テキスト2章					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	100%					100%
(補足)	・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】						
【教科書・参考文献】						
教科書：翔泳社 LPICレベル1 Version5.0対応						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		4年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	サーバ構築	稲垣 高宏	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ウィンドウズサーバの基本的な機能を実習を中心に習得する。

【講義概要】

基本的な機能を理解しながら、機能別にサーバ構築が使えるようにする。
中間と期末試験は行わない。実習中心とする。

回 授業計画及び学習の内容

1	Windowsサーバとクライアントのインストールと接続確認。
2	DNSのインストールと設定とテストを行う。
3	Active Directoryの説明とインストールし、クライアントからのログイン。
4	グループポリシーとクライアント管理。
5	ファイルとフォルダのアクセス権と共有。
6	DHCPの設定とテスト。
7	Webの仕組。IISのインストールと設定。
8	ftpのインストールと設定。
9	xampのインストールと、Apacheの設定してクライアントから接続。
10	CGIの理解。PHPによる接続。
11	mysqlの設定と、PHPから接続。
12	セキュリティの基本的な設定の確認。
13	まとめ。
14	総合演習1
15	総合演習2

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	60%			40%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

メーカー系IT企業でSE、プログラマとして開発業務に従事する。退職後に、シグマプロジェクトの研究員を務める。20代で起業して外資系やメーカー系の会社などを中心に開発業務に従事する。開発のほかに、マニュアルなどの翻訳や出版業務も行う。

【教科書・参考文献】

なし。自前の資料。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		4年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Web詳論	榎本 博文	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

高度情報化社会に対応するITエンジニアの養成を念頭に講義を行う。
溢れる情報の中から「本質」を見抜くためには、基本的なIT知識は勿論、幅広い知識が重要となる。

【講義概要】

環境・技術・ビジネスの変化をテーマに、文字、画像、音声、動画などの「コンテンツ制作」「Webサイト構築」（正しい情報発信）を通じITやマルチメディア全般に関わる幅広い内容を学習する。

回	授業計画及び学習の内容
1	コミュニケーションツールとしてのインターネットの使い方。SDGsとGAFAMIについて
2	インターネットの歴史とWWWの仕組み。WebApiの実用方法について。
3	Illustrator Photoshopなどのグラフィック系ソフト演習 UI (User Interface) / UX (User Experience)
4	インターネットビジネス1 インターネットの市場価値と影響力。日本市場と世界市場の違い。
5	プロジェクトマネジメントの必要性。スタッフの役割と管理。リソース管理・スケジュール管理。
6	中間試験前のまとめ講義。試験直前対策。
7	中間試験
8	ワークフローと現状分析。webサイトの狙いとゴール設定。コンテンツの企画。公開と運用。
9	情報アーキテクチャ設計、効果検証と指標。
10	Webコンテンツを構成する素材、素材の集め方、サーチ力とは。
11	伝わるデザインとは？ウェブアクセシビリティの概要。ターゲット、ペルソナを考える。
12	Webマーケティングの全体像。インターネット広告の形式の違い。
13	SEO、LP0について、情報の共有、ネットビジネス、セキュリティ対策。
14	期末試験前のまとめ講義。試験直前対策。
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	40%		40%	20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。

【教科書・参考文献】

ウェブの仕事力が上がる標準ガイドブック1 Webリテラシー 第3版 2030年の世界の地図帳 プリント配布など

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		4年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	講義	セキュリティ監査	久良知 健	無	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
企業における内部監査を理解し、情報セキュリティ監査制度の知見を得て、情報セキュリティ監査の基礎知識を習得することを目標とする。						
【講義概要】						
教科書をベースに情報セキュリティ内部監査を説明し、Web情報をベースに情報セキュリティ監査制度を追加で説明する。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	内部監査とは					
2	情報セキュリティ内部監査の位置づけと内部監査人の必要性					
3	あらためて情報セキュリティの基礎を学ぶ					
4	リスクマネジメント					
5	情報セキュリティ監査制度					
6	情報セキュリティ監査制度：監査基準					
7	中間試験					
8	情報セキュリティ監査制度：管理基準					
9	情報セキュリティ内部監査組織の整備、監査の効率的な進め方					
10	監査手続き					
11	監査リスクと品質管理					
12	情報セキュリティ監査の実施手順：実施計画、監査実施、意見形成					
13	情報セキュリティ監査の実施手順：監査報告、フォローアップ、品質管理					
14	技術的検証、技術的検証と監査との関係、全体のまとめ					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	50%			50%		100%
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 					
【教員紹介】						
【教科書・参考文献】						
情報セキュリティ内部監査の教科書 改訂三版(インプレスR&D) http://www.meti.go.jp/policy/netsecurity/is-kansa/						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		4年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験
専門 必修	実習	システム設計演習 I		山口 慶輔	有
3単位 60時間					

【授業の到達目標及びテーマ】

システム開発の中における設計とはどのようなものか理解することをテーマとする。
システム設計の流れを把握し、設計書等を作成できることを到達目標とする。

【講義概要】

各設計について意味や考え方などの説明を行う。
実際のシステム開発で使用しているツールなどを使用し、設計書作成などの実習を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	システム設計について／使用ツール準備
2	要求定義① 業務フローの作成
3	要求定義② 業務フローの作成
4	要求定義③ データモデルの作成
5	要求定義④ データモデルの作成
6	基本設計① 機能概要設計／ドキュメント記載の注意点
7	基本設計② 画面レイアウトの作成
8	基本設計③ 画面レイアウトの作成
9	基本設計④ 画面コントロール定義／画面イベント定義の作成
10	基本設計⑤ 画面コントロール定義／画面イベント定義の作成
11	基本設計⑥ データ設計／ER図の作成
12	基本設計⑦ データ設計／ER図の作成
13	基本設計⑧ データ設計／ER図の作成
14	基本設計 総合演習
15	基本設計 総合演習

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	65%	15%		20%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

開発ベンダー系IT企業でプログラマを経てSEとして開発業務に従事。
システム設計、アプリ基盤構築、複数の言語での開発経験有り。

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		4年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験
専門 必修	実習	システム設計演習Ⅱ		山口 慶輔	有
3単位 60時間					

【授業の到達目標及びテーマ】

システム開発の中における設計とはどのようなものか理解することをテーマとする。
システム設計の流れを把握し、設計書等を作成できることを到達目標とする。

【講義概要】

設計内容ごとに練習を行い、架空のシステムの設計を行う。
実際のシステム開発で使用しているツールなどを使用し、設計書作成などの実習を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	詳細設計① APIについて
2	詳細設計② API外部設計
3	詳細設計③ API外部設計
4	詳細設計④ API内部設計
5	詳細設計⑤ API内部設計
6	詳細設計⑥ API設計 設計演習
7	詳細設計⑦ API設計 設計演習
8	テスト設計① テスト方法<同値分割・境界値分析>
9	テスト設計② テスト方法<デシジョンテーブル>
10	テスト設計③ テスト方法<状態遷移>
11	テスト設計④ テスト方法<組み合わせ>
12	テスト設計⑤ テスト設計 演習
13	テスト設計⑥ テスト設計 演習
14	総合演習
15	総合演習

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

開発バンダー系IT企業でプログラマを経てSEとして開発業務に従事。
システム設計、アプリ基盤構築、複数の言語での開発経験有り。

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		4年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	ロボット制御 I	稲垣 高宏	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

LEDやセンサ、モーター、カメラなどの電子工作パーツを直接つないで制御することにより、ロボット制御の基礎を習得することを目的とする。

【講義概要】

Raspberry Piと電子工作パーツをプログラミング言語Pythonで制御する実習を行う。中間と期末試験は行わない。実習中心とする。

回	授業計画及び学習の内容
1	Raspberry Piとは何か（実習準備）
2	Raspberry Pi用のOS のインストール
3	LED
4	タクトスイッチ
5	割り込みとタイマー
6	PWM
7	ADCインストール
8	ADC入力
9	ADC確認
10	ブザー
11	モーター
12	マトリックスキーボードとLCD
13	リレー
14	総合演習
15	まとめ

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%			40%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

メーカ系IT企業でSE、プログラマとして開発業務に従事する。退職後に、シグマプロジェクトの研究員を務める。20代で起業して外資系やメーカ系の会社などを中心に開発業務に従事する。開発のほかに、マニュアルなどの翻訳や出版業務も行う。

【教科書・参考文献】

適時必要なプリント配布。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		4年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験
専門 必修	実習	ロボット制御Ⅱ		稲垣 高宏	有

【授業の到達目標及びテーマ】

LEDやセンサ、モーター、カメラなどの電子工作パーツを直接つないで制御することにより、ロボット制御の基礎を習得することを目的とする。

【講義概要】

各回180分の実習中心の授業で、Raspberry Piを使い総合的にセンサーをうごかす演習。中間と期末試験は行わない。実習中心とする。

回	授業計画及び学習の内容
1	温度センサー・人感センサー
2	距離センサー・ジャイロ
3	マイク
4	音声認識1
5	音声認識2
6	センサの複合処理1
7	センサの複合処理2
8	センサの複合処理3
9	総合演習1
10	総合演習2
11	総合演習3
12	総合演習4
13	総合演習5
14	総合演習6
15	まとめ

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	60%			40%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

メーカ系IT企業でSE、プログラマとして開発業務に従事する。退職後に、シグマプロジェクトの研究員を務める。20代で起業して外資系やメーカ系の会社などを中心に開発業務に従事する。開発のほかに、マニュアルなどの翻訳や出版業務も行う。

【教科書・参考文献】

適時必要なプリント配布。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		4年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	プロジェクトマネジメント I	鹿子木 範昭	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

プロジェクトマネジメントの概要と理論的な考え方を習得する

【講義概要】

プロジェクトマネジメント、特にアジャイル型開発の理論（方法論）を学習し、具体的事例への適用を検討する

回 授業計画及び学習の内容

1	プロジェクトとプロジェクトとマネジメント
2	プロジェクト組織とプロジェクト・マネジャーの役割
3	アジャイル型開発アプローチ
4	プロジェクトの立上げ（1）
5	プロジェクトの立上げ（2）
6	プロジェクトの計画（1）
7	中間試験
8	プロジェクトの計画（2）
9	プロジェクトの計画（3）
10	プロジェクトの実行とコントロール（1）
11	プロジェクトの実行とコントロール（2）
12	プロジェクトの実行とコントロール（3）
13	プロジェクトと企業戦略
14	まとめ
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%・20%			10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

Agileプロジェクトマネジメント／中谷公巳／日本能率協会マネジメントセンター

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		4年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	プロジェクトマネジメントⅡ		鹿子木 範昭	無	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

前期で学んだプロジェクトマネジメントの概要と考え方をベースに実際のプロジェクトに応用する。またプロジェクト管理ツールを使って実体験をする。

【講義概要】

図解PMコース プロジェクトマネジメント理論編・実践編 第3版

回	授業計画及び学習の内容
1	第三部 プロジェクトマネジメント標準
2	プロジェクト事例研究
3	ステップ1 プロジェクトの目標を明確にする
4	ステップ2 作業を分解する
5	ステップ3 役割を分担し、所要期間を見積もる
6	ステップ4 ネットワーク図を作成し、クリティカルパスを見つける
7	中間試験
8	ステップ5 スケジュールを作成する
9	ステップ6 負荷をならす
10	ステップ7 予算その他の計画をつくる
11	ステップ8 リスクに備える
12	ステップ9 進捗をコントロールする
13	ステップ10 事後の振り返りをする
14	まとめ
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	70%	20%		10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科		2023年		4年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	卒業研究 I		坂井 剛	有	3単位 60時間
【授業の到達目標及びテーマ】						
卒業年次前期の卒業研究を実施。						
【講義概要】						
卒業製作の企画、計画、実装、テスト、報告を通し1つのプロジェクトをやり通す。 単位修得にはテーマ発表、中間発表（2回）、最終発表、及び十分な品質の制作物の提出を必須とする。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	卒業制作テーマ決定					
2	テーマ発表					
3	計画、調査					
4	基本設計					
5	実装					
6	実装					
7	中間発表					
8	実装					
9	実装					
10	中間発表					
11	実装					
12	実装					
13	成果物完成・審査					
14	最終発表準備					
15	最終発表					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
大学院出身後、8年間SEとしてIT業界に携わる。						
【教科書・参考文献】						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科		2023年		4年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	卒業研究Ⅱ		坂井 剛	有	3単位 60時間
【授業の到達目標及びテーマ】						
卒業年次前期の卒業研究を実施。						
【講義概要】						
卒業製作の企画、計画、実装、テスト、報告を通し1つのプロジェクトをやり通す。 単位修得にはテーマ発表、中間発表（2回）、最終発表、及び十分な品質の制作物の提出を必須とする。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	卒業制作テーマ決定					
2	テーマ発表					
3	計画、調査					
4	基本設計					
5	実装					
6	実装					
7	中間発表					
8	実装					
9	実装					
10	中間発表					
11	実装					
12	実装					
13	成果物完成・審査					
14	最終発表準備					
15	最終発表					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
大学院出身後、8年間SEとしてIT業界に携わる。						
【教科書・参考文献】						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科		2023年		4年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	卒業研究Ⅲ		坂井 剛	有	3単位 60時間
【授業の到達目標及びテーマ】						
卒業年次後期の卒業研究を実施。						
【講義概要】						
卒業製作の企画、計画、実装、テスト、報告を通し1つのプロジェクトをやり通す。 単位修得にはテーマ発表、中間発表（2回）、最終発表、及び十分な品質の制作物の提出を必須とする。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	卒業制作テーマ決定					
2	テーマ発表					
3	計画、調査					
4	基本設計					
5	実装					
6	実装					
7	中間発表					
8	実装					
9	実装					
10	中間発表					
11	実装					
12	実装					
13	成果物完成・審査					
14	最終発表準備					
15	最終発表					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
大学院出身後、8年間SEとしてIT業界に携わる。						
【教科書・参考文献】						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科		2023年		4年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	卒業研究IV		坂井 剛	有	3単位 60時間
【授業の到達目標及びテーマ】						
卒業年次後期の卒業研究を実施。						
【講義概要】						
卒業製作の企画、計画、実装、テスト、報告を通し1つのプロジェクトをやり通す。 単位修得にはテーマ発表、中間発表（2回）、最終発表、及び十分な品質の制作物の提出を必須とする。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	卒業制作テーマ決定					
2	テーマ発表					
3	計画、調査					
4	基本設計					
5	実装					
6	実装					
7	中間発表					
8	実装					
9	実装					
10	中間発表					
11	実装					
12	実装					
13	成果物完成・審査					
14	最終発表準備					
15	最終発表					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
大学院出身後、8年間SEとしてIT業界に携わる。						
【教科書・参考文献】						

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	高度情報システム科	2023年		4年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	高度国試対策 I	小泉 真理子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

情報処理安全確保支援士の合格に必要な知識を身につける。

【講義概要】

情報処理安全確保支援士試験の資格対策を行う。応用情報技術者試験のセキュリティ分野の問題と、情報処理安全確保支援士の試験の問題を解く。

回	授業計画及び学習の内容
1	過去問演習
2	過去問演習
3	過去問演習
4	過去問演習
5	過去問演習
6	過去問演習
7	過去問演習
8	中間試験
9	過去問演習
10	過去問演習
11	過去問演習
12	過去問演習
13	過去問演習
14	過去問演習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	50%			50%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。

【教科書・参考文献】

情報処理教科書 情報処理安全確保支援士 2023年版、情報処理安全確保支援士試験過去問題

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		4年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	高度国試対策Ⅱ	小泉 真理子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

情報処理安全確保支援士の合格に必要な知識を身につける。

【講義概要】

情報処理安全確保支援士試験の資格対策を行う。応用情報技術者試験のセキュリティ分野の問題と、情報処理安全確保支援士の試験の問題を解く。

回	授業計画及び学習の内容
1	過去問題演習
2	過去問題演習
3	過去問題演習
4	過去問題演習
5	過去問題演習
6	過去問題演習
7	中間試験
8	過去問題演習
9	過去問題演習
10	過去問題演習
11	過去問題演習
12	過去問題演習
13	過去問題演習
14	過去問題演習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	50%			50%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。

【教科書・参考文献】

情報処理安全確保支援士試験過去問題

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		4年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	応用数学 I	氏原 真代	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

数学の基礎から、微分積分学や微分方程式など、高度な応用数学を身につけさせることを目的とする。

【講義概要】

数学の基礎から、微分積分学や微分方程式など、高度な応用数学を学習する。また、物理数学を含めた物理的な考えなどもあわせて学習する。

回 授業計画及び学習の内容

1	数と関数 数の性質・関数とグラフ・偶関数と奇関数
2	指数・有効数字 指数の取り扱いや有効数字の扱い
3	指数と対数(1) 指数関数・指数法則
4	指数と対数(2) 対数関数・対数の性質
5	単位と単位系 国際単位系(SI単位)・接頭語・単位の変換
6	関数・指数・対数・単位系のまとめ 演習問題
7	中間試験
8	三角関数(1) 弧度法・三角比・重要な公式
9	三角関数(2) 加法定理・加法定理から導かれる公式
10	微分(1) 極限値の性質
11	微分(2) 導関数
12	微分(3) 微分公式①
13	微分(4) 微分公式②
14	三角関数・微分のまとめ 演習問題
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	80%	10%		10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

授業時にプリント配布, 講義の際に紹介

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		4年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	応用数学Ⅱ	氏原 真代	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

数学の基礎から、微分積分学や微分方程式など、高度な応用数学を身につけさせることを目的とする。

【講義概要】

数学の基礎から、微分積分学や微分方程式など、高度な応用数学を学習する。また、物理数学を含めた物理的な考えなどもあわせて学習する。

回	授業計画及び学習の内容
1	微分（1） 微分公式
2	微分（2） 合成関数の微分法
3	微分（3） 指数・対数関数の微分
4	微分（4） 高次導関数・マクローリン展開
5	積分（1） 不定積分（積分の公式・置換積分）
6	積分（2） 不定積分（積分の公式・部分積分）
7	微分・不定積分のまとめ 演習問題
8	中間試験
9	積分（4） 定積分（定積分の性質）
10	積分（5） 定積分（置換積分）
11	積分（6） 定積分（部分積分）
12	微分方程式（1） 1階微分方程式（変数分離形・同次形）
13	微分方程式（2） 1階微分方程式（線形）
14	定積分・微分方程式のまとめ 演習問題
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

授業時にプリント配布，講義の際に紹介

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科	2023年		4年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	応用英語 I	Tope Salami	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
1. Staying updated with General and Technology News from English News Sources. 2. Reading Manuals in English Overcoming the fear of reading English manuals.						
【講義概要】						
Classes will comprise: discussions about general and technology related news topics. creating projects that require reading technology manuals and homework to learn and reinforce technology vocabulary.						
回	授業計画及び学習の内容					
1	Introductions, English for IT, AI or Security Projects					
2	News Topic 1, Introduction to Software, Operating Systems, Project 1					
3	News Topic 2, Software Applications, IT Careers, Project 1					
4	News Topic 3, The Internet, People in IT, Project 1					
5	News Topic 4, Measurements, Programming Languages, Final Project 2					
6	News Topic 5, Computer Types, Components, Final Project 2					
7	Peripherals, Networking, Final Projects Presentation					
8	The Keyboard: Part 1 and Part 2, Project 3					
9	Memory. Storage and Input Devices, Project 3					
10	Removable Storage, IT Slang, Project 3 Presentation, Project 3					
11	English for Electronics, Computer Ethics, Project 4					
12	American IT companies, English for Programmers, Project 4					
13	Introduction to Cryptocurrency, QA (Quality Assurance), Project 4					
14	The Concise Guide to ITIL, Freelancing, Project 4					
15	Final Projects					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合		60%	40%			100%
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 					
【教員紹介】						
Tope Salami : IT関連会社運営、カナダ、サウジアラビア、日本で合計9年の英語関連、Pythonプログラミング関連の実務経験。生徒が授業に積極的に参加する雰囲気作りに情熱を注いでいる。						
【教科書・参考文献】						
English for Information Technology						

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	高度情報システム科	2023年		4年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	応用英語Ⅱ	安藤 真理	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ITパスポート試験や基本情報技術者試験などの英語訳したものを解答できるほどの技術的な英語の習得を目指す。

【講義概要】

ITにて頻出する英単語の習得や技術的な英文の理解を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	オリエンテーション、国際的な言語関係について
2	オリエンテーション、国際的な言語関係について
3	情報処理システム
4	ソフトウェア
5	データベース
6	ネットワーク、中間試験対策問題
7	中間試験
8	セキュリティ
9	データ構造とアルゴリズム
10	ストラテジ
11	マネジメント
12	午前免除問題の受験対策
13	午前免除問題の受験対策
14	試験前対策問題
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%	10%		10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

適時プリントで対応していく

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2023 年		4 年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅳ	高度情報システム科 担当教員	無	1.5 単位 30 時間

【授業の到達目標及びテーマ】

学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。
 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。
 心身の健全な育成を目指しています。

【講義概要】

この授業は学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	学園祭準備（1日目、2日目）
3	
4	
5	学園祭（1日目）
6	
7	
8	学園祭（2日目）、後片づけ
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席と取り組む姿勢）	合計
割合					100%	100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】